

第 7 期佐倉市高齢者福祉・介護計画に係る事業参入意向調査集計結果

1. 目的及び概要

第 7 期佐倉市高齢者福祉・介護計画の策定に当たり、平成 30 年度から平成 32 年度までの事業者参入意向を把握するために、市内事業所を対象とした調査を実施しました。

2. 開設等の意向

平成 30～32 年度の間に新たな事業所の開設の意向がある法人・事業所

11 事業所（回答なし：153 事業所）

3. 開設・拡大の時期

- ①平成 30 年度… 6 事業所
- ②平成 31 年度… 4 事業所
- ③平成 32 年度… 0 事業所
- ④未定… 1 事業所

4. 事業種別及び整備区分

※重複回答あり

- ①訪問介護…新設 2 件
- ②看護小規模多機能型居宅介護…新設 1 件
- ③認知症対応型共同生活介護…改修・定員増 1 件、新設 1 件
- ④介護老人福祉施設…新築 1 件
増築 2 件（60 床、4 床）

※うち増築 1 件については介護老人福祉施設が困難な場合は地域密着型として新設希望

- ⑤居宅介護支援…新設 2 件
- ⑥サービス付き高齢者住宅（特定事業の指定を受けない）…新設 1 件
- ⑦有料老人ホーム（介護付）…住宅型からの転換 1 件
- ⑧通所型サービス A…新設 1 件
- ⑨介護予防拠点…新設 1 件

佐倉市介護人材の確保・定着に関する実態調査集計結果

1. 貴事業所の所在している圏域を教えてください。

- 志津南部 志津北部 臼井・千代田 佐倉 根郷・和田・弥富

n = 82

1 事業所の所在している圏域		回答数	構成比
(1)	志津南部	15	18.3%
(2)	志津北部	12	14.6%
(3)	臼井・千代田	16	19.5%
(4)	佐倉	26	31.7%
(5)	根郷・和田・弥富	13	15.9%
	計	82	100.0%

2. 貴事業所で実施しているサービスを教えてください。

- 訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション
- 通所介護（地域密着型以外） 通所リハビリテーション
- 特定施設（有料老人ホーム） 特定施設（養護・ケアハウス等）
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護
- 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護
- 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護
- 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 地域密着型通所介護
- 特別養護老人ホーム（地域密着型以外） 介護老人保健施設
- 居宅介護支援 地域包括支援センター その他（ ）

2 実施しているサービス【複数回答】

	回答数	構成比
(1) 訪問介護	20	24.4%
(2) 訪問入浴介護	3	3.7%
(3) 訪問看護	5	6.1%
(4) 訪問リハビリテーション	2	2.4%
(5) 通所介護（地域密着型以外）	17	20.7%
(6) 通所リハビリテーション	3	3.7%
(7) 特定施設（有料老人ホーム）	3	3.7%
(8) 特定施設（養護・ケアハウス等）	0	0.0%
(9) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	1.2%
(10) 夜間対応型訪問介護	0	0.0%
(11) 認知症対応型通所介護	1	1.2%
(12) 小規模多機能型居宅介護	0	0.0%
(13) 認知症対応型共同生活介護	4	4.9%
(14) 地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0.0%
(15) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	1.2%
(16) 地域密着型通所介護	8	9.8%
(17) 特別養護老人ホーム（地域密着型以外）	6	7.3%
(18) 介護老人保健施設	3	3.7%
(19) 居宅介護支援	32	39.0%
(20) 地域包括支援センター	3	3.7%
(21) その他()	7	8.5%
計	119	145.1%

※構成比は回答者数82件を100%とする。

3. 貴事業所の法人の種別を教えてください。（一般・公益・社団等含む）

- 社会福祉法人 医療法人 社団・財団法人
 株式会社・有限会社 合同会社・合名会社・合資会社
 NPO法人 その他（宗教法人、独立行政法人等）

3 法人の種別

	回答数	構成比
(1) 社会福祉法人	29	35.4%
(2) 医療法人	3	3.7%
(3) 社団・財団法人	6	7.3%
(4) 株式会社・有限会社	39	47.6%
(5) 合同会社・合名会社・合資会社	4	4.9%
(6) NPO法人	0	0.0%
(7) その他（宗教法人、独立行政法人等）	1	1.2%
計	82	100.0%

4. 貴事業所の現在の介護職員の不足状況について教えてください。また、不足と思われる場合は、(人員基準に関わらず)何名程度増えれば安全に事業が運営できるとお考えか教えてください。

不足している	不足していないが余裕はない	余裕がある
人程度		

4 現在の介護職員の不足状況		
	回答数	構成比
(1) 不足している	36	43.9%
(2) 不足していないが余裕はない	35	42.7%
(3) 余裕がある	5	6.1%
無回答	6	7.3%
計	82	100.0%

○「不足している」と回答した36件の平均不足人数：2.96人

5. 貴事業所の現在の従業員の定着状況についてどのようにお考えか教えてください。
(それぞれ1つに○)

定着率が低く困っている	定着率は低いが困っていない	定着率は低くない

5 現在の従業員の定着状況		
	回答数	構成比
(1) 定着率が低く困っている	11	13.4%
(2) 定着率は低いが困っていない	3	3.7%
(3) 定着率は低くない	63	76.8%
無回答	5	6.1%
計	82	100.0%

6. 現在、特に人材確保に苦慮している職種及び人材定着に苦慮している職種とその理由について、上位3つまでに○を付けていただき、考えられる理由を下のア～セからお選びいただき、ご記入ください。

職種	人材確保に苦慮	人材定着に苦慮	理由(3つまで)
① 介護職員			
② ホームヘルパー			
③ サービス提供責任者			
④ 看護師			
⑤ 理学療法士・作業療法士 ・言語聴覚士			
⑥ 相談員			
⑦ 介護支援専門員			

⑧主任介護支援専門員			
⑨社会福祉士			
⑩保健師			
⑪福祉用具専門相談員			
⑫その他 ()			

- ア. 給与面の待遇がよくない
- イ. 入職前の予想以上に業務内容がきつく、精神的・体力的に続かない
- ウ. 業務の中で精神的に負担になることがあり、勤務を続けられなくなった
- エ. 高齢者が多く、体力的に続かない・パソコン等の機器に慣れない
- オ. 定年退職者が多く補充が追いつかない
- カ. 結婚・出産を機に退職する
- キ. 身内の介護のため退職する
- ク. 職場(職員同士)の人間関係でトラブルが多く、退職する
- ケ. 利用者・家族との関係でトラブルがあり、退職する
- コ. 勤務時間が長い、残業が多い
- サ. 夜勤がある・夜間の緊急対応がある
- シ. もっと好条件で募集している事業所があるため、転職しやすい
- ス. 採用に必要な有資格者がもともと少ないので、応募がない
- セ. 採用しても人件費に見合うだけの収入が見込めないため採用できない
- ソ. その他 ()

6 人材確保及び定着に苦勞している職種【複数回答】					
	確保に苦勞		定着に苦勞		理由 (上位3位まで)
	回答数	構成比	回答数	構成比	
(1) 介護職員	35	42.7%	5	6.1%	ア、イ、エ、ク
(2) ホームヘルパー	15	18.3%	1	1.2%	ア、エ、ス
(3) サービス提供責任者	7	8.5%	1	1.2%	イ、ス、ア、ウ、コ
(4) 看護師	17	20.7%	1	1.2%	ア、ウ、シ、ス
(5) 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	5	6.1%	0	0.0%	ア、ウ、シ
(6) 相談員	8	9.8%	1	1.2%	ス、ア、イ
(7) 介護支援専門員	11	13.4%	1	1.2%	ウ、ス、セ
(8) 主任介護支援専門員	7	8.5%	0	0.0%	ア、ス、セ
(9) 社会福祉士	2	2.4%	1	1.2%	ア、イ、ウ、キ、ク、ス
(10) 保健師	0	0.0%	0	0.0%	
(11) 福祉用具専門相談員	1	1.2%	0	0.0%	ア、エ、オ
(12) その他	2	2.4%	0	0.0%	イ、セ
無回答	18	22.0%	75	91.5%	
計	128	156.1%	86	104.9%	

※構成?は回答者数 82 件を 100%とする。

○ 理由「ソ.その他」の記述(原文ママ)

- ・引越し、夫の転勤のため
- ・募集しても応募がない

- ・採用した人材がどのような仕事ができるか、医療的な知識も多く求められる職場であり慎重に見極める必要があるため、安易に雇用できない
- ・仕事内容や働く時間等が特殊であることや、それに見合った報酬でないため募集がない
- ・社会的地位が低いため、応募が少ない
- ・訪問リハビリに従事する有資格者(ST)が少ない
- ・仕事が覚えられない
- ・主任ケアマネの受講要件と資格の維持要件が厳しい
- ・常勤で採用ができない

7. 貴事業所の介護サービス事業について、現時点での今後の方向性（イメージ）を教えてください。サービス種類、事業所規模、人件費総額のそれぞれについて、あてはまる箇所に○を付けてください。

	増やす（拡大する）	減らす（縮小する）	変化なし・不明
サービス種類			
事業所規模			
人件費総額			

7 現時点での事業所の今後の方向性（イメージ）							
		サービス種類		事業所規模		人件費総額	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
(1)	増やす（拡大する）	17	20.7%	24	29.3%	29	35.4%
(2)	減らす（縮小する）	2	2.4%	3	3.7%	3	3.7%
(3)	変化なし・不明	59	72.0%	51	62.2%	45	54.9%
	無回答	4	4.9%	4	4.9%	5	6.1%
	計	82	100.0%	82	100.0%	82	100.0%

8. 職員の定着・退職防止のために、貴事業所で取り組んでいること、またその中で効果のあったものに○を付けてください。

取り組み	取り組んでいる (いくつでも)	効果があった (上位3つ)
①採用時に業務内容・就労条件について詳細に説明する		
②個人の希望に配慮した職員配置・労働時間(シフト)		
③定期昇給実施による職員の生活の安定化、モチベーションアップ		
④人事考課制度の導入		
⑤変形労働制の導入		
⑥上司による個別面談や相談体制の充実		

⑦先輩職員による担当指導制度やフォロー態勢		
⑧職場内の仲間づくり活動の推進		
⑨体系的な教育・研修の充実		
⑩メンタルヘルスケアを含む健康管理体制充実		
⑪育休・産休・介護休暇の取得促進		
⑫休暇を取りやすい体制づくり		
⑬その他 ()		

8 職員の定着・退職防止のために、取り組んでいること、効果のあったもの【複数回答】				
	取り組んでいる		効果のあったもの	
	回答数	構成比	回答数	構成比
(1) 採用時に業務内容・就労条件について詳細に説明する	63	76.8%	14	17.1%
(2) 個人の希望に配慮した職員配置・労働時間（シフト）	62	75.6%	42	51.2%
(3) 定期昇給実施による職員の生活の安定化、モチベーションアップ	40	48.8%	21	25.6%
(4) 人事考課制度の導入	33	40.2%	2	2.4%
(5) 変形労働制の導入	27	32.9%	3	3.7%
(6) 上司による個別面談や相談態勢の充実	46	56.1%	14	17.1%
(7) 先輩職員による担当指導制度やフォロー態勢	42	51.2%	15	18.3%
(8) 職場内の仲間づくり活動の推進	30	36.6%	5	6.1%
(9) 体系的な教育・研修の充実	48	58.5%	11	13.4%
(10) メンタルヘルスケアを含む健康管理体制充実	32	39.0%	1	1.2%
(11) 育休・産休・介護休暇の取得促進	27	32.9%	6	7.3%
(12) 休暇を取りやすい体制づくり	47	57.3%	24	29.3%
(13) その他	2	2.4%	2	2.4%
無回答	5	6.1%	23	28.0%
計	504	614.6%	183	223.2%

※構成比は回答者数82件を100%とする。

○「取り組んでいること」「効果のあったもの」の記述

- ・公的資格取得の支援
- ・将来に向けてのキャリアデザイン、資格取得制度

9. 人材募集を行う場合のツールや媒体でこんなものがあればよいと思うものがあれば、ご記入ください。

- ・若い世代へのアピールが必要ではないか
- ・訪問介護の楽しさ、魅力を伝えられる場があるといいのではないかと。若い世代へのアピール。地方では文科省が中学校に講師を派遣し、介護技術を教える取組みをしている。
- ・拠点対応として、定期的に地域に人材募集のチラシを配布している
- ・インターネットによる佐倉市内の人材募集
- ・介護事業所間のツール。過去の就労時の様子を分かりやすくするため。
- ・公的に使用可能な人材紹介ツール。民間の紹介業利用料は高すぎるため利用が難しい。
- ・働きたい人が、働き手を欲しい企業とマッチングできるシステム
- ・低価格での募集があるといい(募集をするととても大きな金額がかかるが、募集をしたからといって求人があるわけではないので)

12. 人材確保・定着に関して感じていることを教えてください。(あてはまるもの全てに☑)

- 今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない
- 介護現場のイメージが悪く、新規入職者の応募者が少ない
- 介護現場から離れて、他の業界に転職する者が多い
- 事業所の新設・閉鎖が多く、介護業界内で人材が流動的で取り合いになっている
- 良質な人材の確保が難しい
- 職員の介護業務に関する知識や技術が不足している
- 職員の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある
- 管理者の指導・管理能力が不足している
- 教育・研修の時間が十分に取れない
- 雇用管理等についての情報や指導が不足している
- 事業所内のコミュニケーション不足により、雰囲気がよくないため職員が定着しない
- 制度や人員基準がよく変わるため、継続した雇用を見込めない

12 人材確保・定着に関して感じていること【複数回答】

	回答数	構成比
(1) 今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない	51	62.2%
(2) 介護現場のイメージが悪く、新規入職者の応募者が少ない	39	47.6%
(3) 介護現場から離れて、他の業界に転職する者が多い	21	25.6%
(4) 事業所の新設・閉鎖が多く、介護業界内で人材が流動的で取り合いになっている	39	47.6%
(5) 良質な人材の確保が難しい	59	72.0%
(6) 職員の介護業務に関する知識や技術が不足している	22	26.8%
(7) 職員の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある	20	24.4%
(8) 管理者の指導・管理能力が不足している	16	19.5%
(9) 教育・研修の時間が十分に取れない	35	42.7%
(10) 雇用管理等についての情報や指導が不足している	5	6.1%
(11) 事業所内のコミュニケーション不足により、雰囲気がよくないため職員が定着しない	6	7.3%
(12) 制度や人員基準がよく変わるため、継続した雇用を見込めない	9	11.0%
無回答	7	8.5%
計	329	401.2%

※構成比は回答者数82件を100%とする。

13. 人材確保・定着に関し、貴事業所で効果のあった取組例等があればご記入ください。

- ・フリーペーパーによる募集
- ・まずは現場見学をしていただく
- ・就職してくれれば、『働きやすい職場』であるよう取り組んでいる
- ・有給完全消化
- ・連続休暇(5日程度)の導入
- ・家庭の事情に考慮したシフトの組み方をする
- ・職員の家庭の事情に合わせた勤務形態にすること
- ・子育て中の職員への協力体制、他の職員の理解を得ること
- ・パート雇用者への入社・退社時刻の調整(幼稚園に送ってから入社、通常のお迎え時間に合わせた退社)、万一の時の子連れ出勤の許可、用事があるときの変則勤務許可
- ・家族内の介護が発生した際、時短勤務や夜勤調整、事業所内介護
- ・相談しやすい職場にするための雰囲気作り
- ・人材が定着するまでは、きめ細かく不安を解消できる体制を整えている
- ・新人職員の指導、フォロー体制を職員に合わせてしっかり行っていること
- ・職場内のコミュニケーションを取り、常に気にかけて対応していること
- ・社内研修後の懇親会。その他、簡単な個人面談で気持ちの把握をしている。
- ・管理者が職員を細かく面談することで定着につながっていると思う
- ・定期的ミーティングの開催と、職場内環境の改善に取り組むこと
- ・事業所での交流会
- ・交流会を多く持つこと
- ・人材は、すでに勤務しているスタッフの紹介でどうにか充足している。身内の紹介はかなり有効であると思う。
- ・職員による紹介制度があり、人材確保に効果があったと感じる
- ・職員紹介で採用した際、3か月継続した時点で紹介してくれた職員に報奨金を出す
- ・研修制度を作り、スキルアップ、キャリアアップできる姿を上司との面談で示すようにしたこと
- ・施設内で初任者研修、実務者研修を行い、個人と施設のスキルアップを行っている
- ・ヘルパーの資格があるが、仕事をしたことがないこと向けに『ペーパーヘルパー講習』の参加者を募集し、そこから人材確保につなげる
- ・外部研修への派遣を多くした
- ・実践的、定期的な研修による職員のスキルアップ
- ・施設内で初任者研修、実務者研修を実施し、スキルアップのためのコースを用意していること
- ・時給を上げ、定期的に研修を行っている。
- ・定期的な研修制度・評価制度による昇給
- ・困難事例を共有し、精神的な負担を軽減する
- ・60歳以上だけで運営するユニットを設けている
- ・問題要因となっている職員の降格人事

14. 介護現場の人材確保・定着に関し、制度や広報等、市に望むことをご記入ください。

- ・介護報酬の安定・引上げ
- ・介護報酬額の見直し。現場も事務も介護保険にとって必要な業務だが、介護(実務)以外の業務を十分にまかなうほど人件費がかけられない。
- ・リハビリや、精神特化型で24時間対応していない訪問看護ステーションに人材が集まる傾向にあります。がん対策基本法の観点から、24時間対応は必要なものであり、24時間対応に対する評価を上げる、または24時間対応のできない訪問介護ステーションに対する減算を行ってほしい。
- ・介護現場のイメージが上がるような取組み
- ・介護の仕事に対するイメージを変えていただきたい。
- ・ヘルパー業務は、在宅支援の「かなめ」だと思うが、現状は厳しく、自宅で看取りまでの方はほとんどいない。すぐに入所してしまうので、仕事として不安定だと考えている。
- ・事業所をアピールするための紹介コーナー等を広報に載せていただくと、一般の方にもより身近なものとしてご理解いただけると思います。
- ・ヘルパーの人材確保のため、初任者研修を定額料金で行ってほしい。
- ・介護従事者研修
- ・介護職員資格取得研修無料実施
- ・行政として人材育成を行い、事業所内での定着率によって研修費などの助成を望みます
- ・積極的に介護人材育成(初任者研修、実務者研修の費用補助等)を行い、その後の就職先として佐倉市内の事業者による就職説明会等を開催する
- ・介護現場のイメージアップができる広報活動や、介護で働きたい女性への育児などの支援を打ち出してほしい
- ・保育園の拡充
- ・保育園、幼稚園を土日にも開園する
- ・職員の子どもが具合が悪くなると急に休んでしまうため、体調不良でも預けることができる保育所、学童保育。また、そこまでの移送サービス
- ・市で合同の就業説明会の開催
- ・人材募集を広報に載せてはどうか。高齢者が増え、ワーカー(職員)がいなければ介護ができない。横のつながりを多く作ることでお互いの事業所が助かると思う。
- ・賃金のアップが必要。介護報酬のみでの収入では限界があり、人員不足で利用者の受入増が困難である。いずれは閉鎖も検討せざるを得ないので、市の財政支援は無理でしょうか。
- ・介護報酬の引き上げ、安価で受けられる研修の実施、訪問介護の仕事内容のPR
- ・他市では、社協と協働で福祉人材バンクを立ち上げ、人材の呼び込み、就労支援、定着支援、キャリアアップ支援など行っており、佐倉市も検討してみるのはいかがでしょうか
- ・人事に関するコンサルタントを定期的実施してほしい
- ・介護職は低賃金ということが社会に強くアピールされてしまっている。人材派遣会社の時給がウェブ上に直接掲載されてしまうため、人材派遣会社が雇用獲得が早い。株式会社よりも社会福祉法人の賃金が安定していると思われる(賞与の支給率が高いため)

- ・地域包括ケアシステムの構築において、訪問介護はなくてはならない。しかし、人員確保で各事業所は苦しい状況にある。訪問介護協議会などを立ち上げ、人材確保など支援する体制を作ってはどうか。
- ・広報紙等で福祉サービスをもっと取り上げ、市民に周知してもらおう
- ・市内介護事業所の分散(集中している場所が多すぎる)
- ・指導の緩和
- ・市に望むことはない。税金はほかに回してほしい。

佐倉市介護労働者の実態及び意識調査集計結果

【現在の業務について】

1. あなたは、今働いている事業所で具体的にどのような仕事をしていますか。

(1) あなたが行っている仕事（職種）はどれですか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 訪問介護員 | 5. 生活相談員 |
| 2. サービス提供責任者 | 6. 介護支援専門員（ケアマネジャー） |
| 3. 看護職員 | 7. 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 |
| 4. 介護職員 | 8. その他（ ） |

1-1 行っている仕事（職種）【複数回答】

	回答数	構成比
(1) 訪問介護員	24	14.8%
(2) サービス提供責任者	17	10.5%
(3) 看護職員	10	6.2%
(4) 介護職員	59	36.4%
(5) 生活相談員	24	14.8%
(6) 介護支援専門員（ケアマネジャー）	42	25.9%
(7) 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士	4	2.5%
(8) その他	25	15.4%
計	205	126.5%

※構成比は回答者数162件を100%とする。

○ 「その他」の記述内容（原文ママ）

- ・福祉用具専門相談員（8件）
- ・管理者（7件）
- ・事務（4件）
- ・社会福祉士（2件）
- ・施設長
- ・管理者、相談支援員
- ・計画作成者
- ・ユニットリーダー

2. あなたが今働いている法人での勤続年数をお伺いします。

- ① 1年未満 ④ 5～10年
 ② 1～3年 ⑤ 10～20年
 ③ 3～5年 ⑥ 20年以上

2 現在勤務している法人での勤続年数		
	回答数	構成比
(1) 1年未満	11	6.8%
(2) 1年以上3年未満	32	19.8%
(3) 3年以上5年未満	25	15.4%
(4) 5年以上10年未満	47	29.0%
(5) 10年以上20年未満	42	25.9%
(6) 20年以上	3	1.9%
無回答	2	1.2%
計	162	100.0%

3. あなたの就業形態、勤務形態についてお伺いします。

(1) あなたの就業形態は次のうちどれですか。(1つに○)

1. 正規職員→4へ
 2. 非正規職員(パート、アルバイト、臨時職員、嘱託職員、契約社員等)

3-1 回答者の就業形態		
	回答数	構成比
(1) 正規職員	121	74.7%
(2) 非正規職員	31	19.1%
無回答	10	6.2%
計	162	100.0%

【(1-1)～(1-3)は、「2. 非正規職員」に○を付けた方のみお答えください。】

(1-1) あなたの1日・1週間の所定労働時間は正規職員と同じですか。(1つに○)

1. 正規職員と同じ 2. 正規職員より短い 3. わからない

3-1-1 非正規職員の労働時間		
	回答数	構成比
(1) 正規職員と同じ	11	35.5%
(2) 正規職員より短い	19	61.3%
(3) わからない	1	3.2%
計	31	100.0%

(1-2) 今後、正規職員となることを希望しますか。(1つに○)

1. 希望する 2. 希望しない

3-1-2 今後の正規職員への転換希望		
	回答数	構成比
(1) 希望する	6	19.4%
(2) 希望しない	25	80.6%
計	31	100.0%

(1 - 3) あなたが希望する、1週間の労働日数と労働時間をお伺いします。

労働日数 日間/週 労働時間 時間/週

3-1-3① 非正規職員が希望する1週間の労働日数		
	回答数	構成比
(1) 週1日	1	3.2%
(2) 週2日	3	9.7%
(3) 週3日	5	16.1%
(4) 週4日	9	29.0%
(5) 週5日	11	35.5%
(6) 週6日	1	3.2%
(7) 週7日	0	0.0%
無回答	1	3.2%
計	31	100.0%

3-1-3② 非正規職員が希望する1日の労働時間		
	回答数	構成比
(1) 1～10時間	7	22.6%
(2) 11～20時間	6	19.4%
(3) 21～30時間	5	16.1%
(4) 31～40時間	12	38.7%
無回答	1	3.2%
計	31	100.0%

4. あなたが現在お持ちの介護関連資格についてお伺いします。

(1) 介護に関する資格のうち、あなたが現在お持ちの資格、また、今後取得したいと考えている資格はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

介護に関する資格	現在取得済み	今後取得希望
介護福祉士	1	1
介護職員実務者研修	2	2
介護職員初任者研修	3	3
介護支援専門員 (ケアマネジャー)	4	4
主任介護支援専門員	5	5
看護師	6	6
准看護師	7	7
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士	8	8
社会福祉士	9	9
福祉用具専門相談員	10	10
栄養士、管理栄養士	11	11

上記以外の介護関連資格（ ）	1 2	1 2
資格なし	1 3	
今後取得の希望はなし		1 3

4 現在取得済み資格、また、今後取得したいと考えている資格【複数回答】				
	取得済み		取得希望	
	回答数	構成比	回答数	構成比
(1) 介護福祉士	92	56.8%	17	10.5%
(2) 介護職員実務者研修	13	8.0%	5	3.1%
(3) 介護職員初任者研修	23	14.2%	3	1.9%
(4) 介護支援専門員（ケアマネジャー）	52	32.1%	28	17.3%
(5) 主任介護支援専門員	9	5.6%	8	4.9%
(6) 看護師	11	6.8%	0	0.0%
(7) 准看護師	5	3.1%	0	0.0%
(8) 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士	4	2.5%	0	0.0%
(9) 社会福祉士	12	7.4%	9	5.6%
(10) 福祉用具専門相談員	15	9.3%	2	1.2%
(11) 栄養士、管理栄養士	1	0.6%	1	0.6%
(12) 上記以外の介護関連資格	32	19.8%	2	1.2%
(13) 資格なし	2	1.2%	23	14.2%
無回答	5	3.1%	84	51.9%
計	276	170.4%	182	112.3%

※構成比は回答者数162件を100%とする。

○ 「上記以外の介護関連資格」取得済みの資格

- ・保健師
- ・精神保健福祉士
- ・ホームヘルパー1級
- ・ホームヘルパー2級
- ・ユニットリーダー
- ・介護職員基礎研修
- ・社会福祉主事
- ・社会福祉主事任用資格
- ・認知症ケア専門士

○ 「上記以外の介護関連資格」今後取得を希望する資格

- ・精神保健福祉士

【労働条件及び労働日・労働時間等について】

5. 本調査票を渡された法人（事業所）で、採用時に労働条件について説明を受けましたか。説明を受けたものすべてに○をつけてください。

1. 労働契約期間・更新	5. 給与、諸手当、賞与支給に関する事項
2. 勤務時間（始業、終業）、 時間外労働の有無	6. 退職に関する事項（解雇の場合を含む）
3. 休日、年次有給休暇・特別休暇等	7. 雇用保険の加入
4. 就業場所、従事する業務の内容	8. 健康保険、厚生年金等の加入
	9. 1～8の説明は受けていない

5 採用時に説明を受けた労働条件【複数回答】

	回答数	構成比
(1) 労働契約期間・更新	132	81.5%
(2) 勤務時間（始業、終業）、時間外労働の有無	148	91.4%
(3) 休日、年次有給休暇・特別休暇等	135	83.3%
(4) 就業場所、従事する業務の内容	144	88.9%
(5) 給与、諸手当、賞与支給に関する事項	142	87.7%
(6) 退職に関する事項（解雇の場合を含む）	99	61.1%
(7) 雇用保険の加入	123	75.9%
(8) 健康保険、厚生年金等の加入	123	75.9%
(9) 1～8の説明は受けていない	1	0.6%
無回答	5	3.1%
計	1052	649.4%

※構成比は回答者数162件を100%とする。

6. あなたの働く職場での通常の1週間（月曜日から日曜日まで）に働く日数及び時間数をお伺いします。（シフト勤務で変動がある場合は、平均的な日数・時間をご記入ください。）

(1) 本調査票を渡された職場で、1週間にどのくらい働きましたか。また、働いた時間のうち、残業時間数はどのくらいですか。残業がない場合は「0」をご記入ください。

働いた日数 日間／週 働いた時間 時間／週
 うち、残業時間 時間／週

6-1① 1週間に働いた日数

	回答数	構成比
(1) 1日間	0	0.0%
(2) 2日間	2	1.2%
(3) 3日間	6	3.7%
(4) 4日間	12	7.4%
(5) 5日間	133	82.1%
(6) 6日間	7	4.3%
(7) 7日間	0	0.0%
無回答	2	1.2%
計	162	100.0%

6-1② 1週間に働いた時間		
	回答数	構成比
(1) 1～10時間	8	4.9%
(2) 11～20時間	7	4.3%
(3) 21～30時間	8	4.9%
(4) 31～40時間	72	44.4%
(5) 41～50時間	58	35.8%
(6) 51～60時間	4	2.5%
(7) 61～70時間	1	0.6%
(8) 71～80時間	1	0.6%
無回答	3	1.9%
計	162	100.0%

6-1③ 1週間の残業時間		
	回答数	構成比
(1) 0時間	61	37.7%
(2) 1～5時間	55	34.0%
(3) 6～10時間	25	15.4%
(4) 11～20時間	3	1.9%
(5) 21～30時間	1	0.6%
(6) 31～40時間	1	0.6%
(7) 41～50時間	1	0.6%
無回答	15	9.3%
計	162	100.0%

(2) 本調査票を渡された職場以外で、収入を伴う仕事をしていますか。(1つに○)

- | |
|---------------------|
| 1. していない |
| 2. 介護サービスの仕事をしている |
| 3. 介護サービス以外の仕事をしている |

6-2 本調査票を渡された職場以外での就業状況		
	回答数	構成比
(1) していない	153	94.4%
(2) 介護サービスの仕事をしている	4	2.5%
(3) 介護サービス以外の仕事をしている	4	2.5%
無回答	1	0.6%
計	162	100.0%

7. 本調査票を渡された職場での、深夜勤務についてお伺いします。

(1) 深夜勤務(22時～5時)はありますか。(1つに○)

- | | |
|-------|-----------|
| 1. ある | 2. ない→問8へ |
|-------|-----------|

7-1 深夜勤務（22時～5時）の有無		
	回答数	構成比
(1) ある	35	21.6%
(2) ない	124	76.5%
無回答	3	1.9%
計	162	100.0%

【(1-1)～(1-3)は、「1. ある」に○を付けた方のみお答えください。】

(1-1) 1か月あたり平均して何回の深夜勤務がありますか。

1か月あたり 回／平均

7-2 1か月平均の深夜勤務回数		
	回答数	構成比
(1) 1回	2	5.7%
(2) 2回	1	2.9%
(3) 3回	3	8.6%
(4) 4回	8	22.9%
(5) 5回	5	14.3%
(6) 6回	8	22.9%
(7) 7回	6	17.1%
(8) 8回	1	2.9%
(9) 9回	1	2.9%
計	35	100.0%

(1-2) 仮眠や休憩は取れますか。(1つに○)

1. 十分取れる 2. ある程度取れる 3. 取れない

7-3 仮眠や休憩の取得状況		
	回答数	構成比
(1) 十分取れる	7	20.6%
(2) ある程度取れる	17	50.0%
(3) 取れない	10	29.4%
計	34	100.0%

(1-3) 深夜勤務時には、何人の職員数で、何人の入居者をみていますか。通常月の平均の人数をご記入ください。

職員 人で、 入居者 人

○ 平均人数

- ・1人で4人（2件）
- ・1人で5人（1件）
- ・1人で7人
- ・1人で8人
- ・1人で9人（2件）

- ・1人で20人（6件）
- ・1人で21人
- ・1人で23人（2件）
- ・2人で15人（2件）
- ・2人で18人（2件）
- ・2人で20人
- ・2人で60人
- ・3人で1人
- ・3人で50人
- ・3人で60人
- ・3人で68人
- ・3人で70人
- ・3人で74人
- ・3人で100人
- ・7人で150人

【賃金等について】

8. 昨年1年間（平成28年1月1日～平成28年12月31日）の収入について、お伺いします。（1つに○）

- | |
|-------------------|
| 1. 昨年は働いていなかった→9へ |
| 2. 昨年は途中から働いた |
| 3. 昨年は1年を通して働いた |

8 昨年1年間の就労状況		
	回答数	構成比
(1) 昨年は働いていなかった	4	2.5%
(2) 昨年は途中から働いた	6	3.7%
(3) 昨年は1年を通して働いた	146	90.1%
無回答	6	3.7%
計	162	100.0%

【(1)は、「2.」または「3.」に○を付けた方のみお答えください。】

(1) 年収はいくらですか。（1つに○）※賞与及び残業、交通費等諸手当を含みます。

- | |
|----------------------------------|
| 1. 103万円未満（課税対象とならず、配偶者控除が受けられる） |
| 2. 103～130万円未満 |
| 3. 130～200万円未満 |
| 4. 200～250万円未満 |
| 5. 250～300万円未満 |
| 6. 300～400万円未満 |
| 7. 400～600万円未満 |
| 8. 600万円以上 |

8-1 昨年の年収

	回答数	構成比
(1) 103万円未満	14	8.6%
(2) 103～130万円未満	7	4.3%
(3) 130～200万円未満	11	6.8%
(4) 200～250万円未満	20	12.3%
(5) 250～300万円未満	15	9.3%
(6) 300～400万円未満	49	30.2%
(7) 400～600万円未満	30	18.5%
(8) 600万円以上	1	0.6%
無回答	15	9.3%
計	162	100.0%

9. 賃金や手当等についてどのような希望をお持ちですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 基本給の引上げ
2. 能力や仕事ぶりに応じた評価の実施
3. 勤務年数に応じた評価の実施
4. 資格手当の導入・引上げ
5. 役職手当の導入・引上げ
6. 早朝・夜間勤務手当の導入・引上げ
7. 通勤手当の導入・引上げ
8. 移動時間の労働時間への算入や移動手当の導入・引上げ
9. 賞与（ボーナス）の導入・引上げ
10. 連絡用の携帯電話の支給・通信費支給
11. その他（)
12. 賃金や手当に関する希望はない

9 賃金や手当等への希望【複数回答】

	回答数	構成比
(1) 基本給の引上げ	118	72.8%
(2) 能力や仕事ぶりに応じた評価の実施	69	42.6%
(3) 勤務年数に応じた評価の実施	45	27.8%
(4) 資格手当の導入・引上げ	53	32.7%
(5) 役職手当の導入・引上げ	30	18.5%
(6) 早朝・夜間勤務手当の導入・引上げ	29	17.9%
(7) 通勤手当の導入・引上げ	17	10.5%
(8) 移動時間の労働時間への算入や移動手当の導入・引上げ	15	9.3%
(9) 賞与（ボーナス）の導入・引上げ	95	58.6%
(10) 連絡用の携帯電話の支給・通信費支給	19	11.7%
(11) その他	9	5.6%
(12) 賃金や手当に関する希望はない	16	9.9%
無回答	4	2.5%
計	519	320.4%

※構成比は回答者数162件を100%とする。

○ 「その他」の記述

・精勤手当

【以下は、すべての方がお答えください。】

(2) 過去1年間で業務を離れ、研修や講習会に参加したことがありますか。また、受講回数をご記入ください。(1つに○)

1. 受けた →年に()回 2. 受けていない

10-2-1 過去1年間の研修や講習会参加状況		
	回答数	構成比
(1) 受けた	126	77.8%
(2) 受けていない	31	19.1%
無回答	5	3.1%
計	162	100.0%

10-2-2 過去1年間の研修等受講回数		
	回答数	構成比
(1) 1回	31	24.6%
(2) 2回	38	30.2%
(3) 3回	15	11.9%
(4) 4回	9	7.1%
(5) 5回	7	5.6%
(6) 6～10回	16	12.7%
(7) 11～15回	5	4.0%
(8) 16～20回	2	1.6%
(9) 21～25回	1	0.8%
(10) 26～30回	0	0.0%
(11) 31回以上	1	0.8%
無回答	1	0.8%
計	126	100.0%

※構成比は回答者数126件を100%とする。

(3) 研修を受けられない(受けにくい)理由すべてに○をつけてください。

1. 業務多忙のため
 2. 職場の人員不足のため
 3. 研修費用を自分で出すのが困難なため
 4. その他()
 5. 必要がないため

10-3 研修を受けられない(受けにくい)理由【複数回答】		
	回答数	構成比
(1) 業務多忙のため	56	34.6%
(2) 職場の人員不足のため	47	29.0%
(3) 研修費用を自分で出すのが困難なため	18	11.1%
(4) その他	8	4.9%
(5) 必要がないため	9	5.6%
計	138	85.2%

※構成比は回答者数162件を100%とする。

○ 「その他」の記述

- ・日程が合わない
- ・時間が合わないため
- ・子どもが小さいため調整が難しい
- ・研修機会がない、少ない
- ・施設の方針
- ・管理者判断・新規採用者の教育優先
- ・上司が嫌がるため

【仕事についての考え方】

1 1. あなたが現在の仕事を選んだ理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 働きがいのある仕事だと思ったから
2. 今後もニーズが高まる仕事だから
3. 人や社会の役に立ちたいから
4. 生きがい・社会参加のため
5. お年寄りが好きだから
6. 身近な人の介護の経験から
7. 資格・技能が生かせるから
8. 介護の知識や技能が身につくから
9. 給与等の収入が多いから
10. 自分や家族の都合のいい時間(日)に働けるから
11. ほかによい仕事がないため
12. その他 ()
13. 特に理由はない

11 現在の仕事を選んだ理由【複数回答】		
	回答数	構成比
(1) 働きがいのある仕事だと思ったから	93	57.4%
(2) 今後もニーズが高まる仕事だから	60	37.0%
(3) 人や社会の役に立ちたいから	71	43.8%
(4) 生きがい・社会参加のため	27	16.7%
(5) お年寄りが好きだから	31	19.1%
(6) 身近な人の介護の経験から	19	11.7%
(7) 資格・技能が生かせるから	67	41.4%
(8) 介護の知識や技能が身につくから	40	24.7%
(9) 給与等の収入が多いから	6	3.7%
(10) 自分や家族の都合のいい時間(日)に働けるから	24	14.8%
(11) ほかによい仕事がないため	15	9.3%
(12) その他	10	6.2%
(13) 特に理由はない	6	3.7%
無回答	1	0.6%
計	470	290.1%

※構成比は回答者数162件を100%とする。

○ 「その他」の記述

- ・腰痛のため
- ・肉体的にだんだん無理になりケアマネになった
- ・特別な資格はないが、福祉系の大学を卒業したため
- ・長い間介護職として働いていたが体力がなくなったから
- ・友人が車いす生活となり、元気な時と同様に一緒に出掛けたかったため
- ・なりゆき
- ・54才での転職の為、他職種では正社員になれそうになかったため
- ・生活の為
- ・家から近いから

12. 現在の仕事の満足度についてお伺いします。次の各項目すべてについて、あてはまる番号に○を付けてください。

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満足
仕事の内容・やりがい	5	4	3	2	1
キャリアアップの機会	5	4	3	2	1
賃金	5	4	3	2	1
労働時間・休日等の条件	5	4	3	2	1
勤務体制	5	4	3	2	1
人事評価・処遇のあり方	5	4	3	2	1
職場の環境	5	4	3	2	1
人間関係・コミュニケーション	5	4	3	2	1
雇用の安定性	5	4	3	2	1
福利厚生	5	4	3	2	1
教育訓練・能力開発	5	4	3	2	1
職業生活全体	5	4	3	2	1

12 仕事の満足度												
	仕事の内容・やりがい		キャリアアップの機会		賃金		労働時間・休日等の条件		勤務体制		人事評価・処遇のあり方	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
(1) 不満足	0	0.0%	7	4.3%	17	10.5%	17	10.5%	9	5.6%	16	9.9%
(2) やや不満	7	4.3%	14	8.6%	49	30.2%	33	20.4%	29	17.9%	21	13.0%
(3) 普通	53	32.7%	82	50.6%	64	39.5%	63	38.9%	78	48.1%	89	54.9%
(4) やや満足	70	43.2%	33	20.4%	21	13.0%	31	19.1%	28	17.3%	23	14.2%
(5) 満足	31	19.1%	23	14.2%	9	5.6%	16	9.9%	17	10.5%	11	6.8%
無回答	1	0.6%	3	1.9%	2	1.2%	2	1.2%	1	0.6%	2	1.2%
計	162	100.0%	162	100.0%	162	100.0%	162	100.0%	162	100.0%	162	100.0%
	職場の環境		人間関係		雇用の安定性		福利厚生		教育訓練・能力開発		職業生活全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
(1) 不満足	5	3.1%	5	3.1%	1	0.6%	8	4.9%	6	3.7%	4	2.5%
(2) やや不満	20	12.3%	15	9.3%	18	11.1%	31	19.1%	26	16.0%	23	14.2%
(3) 普通	56	34.6%	51	31.5%	69	42.6%	74	45.7%	89	54.9%	82	50.6%
(4) やや満足	57	35.2%	60	37.0%	44	27.2%	31	19.1%	28	17.3%	37	22.8%
(5) 満足	22	13.6%	30	18.5%	28	17.3%	14	8.6%	11	6.8%	14	8.6%
無回答	2	1.2%	1	0.6%	2	1.2%	4	2.5%	2	1.2%	2	1.2%
計	162	100.0%	162	100.0%	162	100.0%	162	100.0%	162	100.0%	162	100.0%

13. あなたの仕事の継続意思についてお伺いします。

(1) 現在の勤務先を問わず、今の仕事をいつまで続けたいと思いますか。(1つに○)

1. 半年程度	4. 6～10年程度続けたい
2. 1～2年程度続けたい	5. 働き続けられる限り続けたい
3. 3～5年程度続けたい	6. わからない

13-1 今の仕事をいつまで続けたいか		
	回答数	構成比
(1) 半年程度	2	1.2%
(2) 1～2年程度続けたい	10	6.2%
(3) 3～5年程度続けたい	17	10.5%
(4) 6～10年程度続けたい	10	6.2%
(5) 働き続けられる限り続けたい	94	58.0%
(6) わからない	29	17.9%
無回答	0	0.0%
計	162	100.0%

(2) 現在の勤務先に、いつまで勤めたいと思いますか。(1つに○)

1. 半年程度	4. 6～10年程度続けたい
2. 1～2年程度続けたい	5. 働き続けられる限り続けたい
3. 3～5年程度続けたい	6. わからない

13-2 現在の勤務先にいつまで勤めたいか		
	回答数	構成比
(1) 半年程度	2	1.2%
(2) 1～2年程度続けたい	14	8.6%
(3) 3～5年程度続けたい	17	10.5%
(4) 6～10年程度続けたい	11	6.8%
(5) 働き続けられる限り続けたい	69	42.6%
(6) わからない	49	30.2%
無回答	0	0.0%
計	162	100.0%

【働く上での悩み、不安、不満等について】

14. 現在、あなたが抱えている働く上での悩み、不安、不満等についてお伺いします。

(1) あなたが労働条件・仕事の負担について、悩み、不安、不満等を感じていることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 雇用が不安定である
2. 正規職員になれない
3. 人手が足りない
4. 仕事内容の割に賃金が低い
5. 労働時間が不規則である
6. 労働時間が長い

- 7. 不払い残業がある・多い
- 8. 休憩が取りにくい
- 9. 有給休暇が取りにくい
- 10. 夜間や深夜時間帯に何か起きるのではないかと不安がある
- 11. 職務として行う医的な行為に不安がある
- 12. 身体的負担が大きい（腰椎や体力に不安がある）
- 13. 精神的にきつい
- 14. 健康面（感染症・けが）の不安がある
- 15. 業務に対する社会的評価が低い
- 16. 福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、事業所（施設）の構造に不安がある
- 17. 業務中の事故（災害、けが等）への補償がない
- 18. その他（ ）
- 19. 労働条件・仕事の負担について、特に悩み、不安、不満等を感じていない

14-1 労働条件・仕事の負担にかかる悩み、不安、不満等【複数回答】

	回答数	構成比
(1) 雇用が不安定である	9	5.6%
(2) 正規職員になれない	5	3.1%
(3) 人手が足りない	76	46.9%
(4) 仕事内容の割に賃金が低い	81	50.0%
(5) 労働時間が不規則である	19	11.7%
(6) 労働時間が長い	27	16.7%
(7) 不払い残業がある・多い	19	11.7%
(8) 休憩が取りにくい	42	25.9%
(9) 有給休暇が取りにくい	68	42.0%
(10) 夜間や深夜時間帯に何か起きるのではないかと不安がある	27	16.7%
(11) 職務として行う医的な行為に不安がある	11	6.8%
(12) 身体的負担が大きい（腰椎や体力に不安がある）	37	22.8%
(13) 精神的にきつい	47	29.0%
(14) 健康面（感染症・けが）の不安がある	17	10.5%
(15) 業務に対する社会的評価が低い	65	40.1%
(16) 福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、事業所（施設）の構造	16	9.9%
(17) 業務中の事故（災害、けが等）への補償がない	10	6.2%
(18) その他	5	3.1%
(19) 特に悩み、不安、不満等を感じていない	17	10.5%
無回答	1	0.6%
計	599	369.8%

※構成比は回答者数162件を100%とする。

○ 「その他」の記述

- ・認知症高齢者の対応、家族に無関心、ネグレクト、過干渉などの問題が多く対応に苦慮するケースが増加している。
- ・困難ケースを担当しているとき
- ・退職金
- ・自分がしていることの代わりをできる職員がいない
- ・実の親の介護も行いながら現在の仕事を続けて行けるのか不安

(2) あなたが職場での人間関係について、悩み、不安、不満等を感じていることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 経営層の介護の基本方針、理念が不明確である
2. 経営層や管理職等の管理能力が低い、業務の指示が不明確、不十分である
3. 上司や同僚との仕事上の意思疎通がうまくいかない
4. 上司や同僚の介護能力が低い
5. 自分と合わない上司や同僚がいる
6. 部下の指導が難しい
7. ケアの方法等について意見交換が不十分である
8. 悩みの相談相手がない、相談窓口がない
9. その他 ()
10. 職場の人間関係について、特に悩み、不安、不満等を感じていない

14-2 職場での人間関係にかかる悩み、不安、不満等【複数回答】

	回答数	構成比
(1) 経営層の介護の基本方針、理念が不明確	15	9.3%
(2) 経営層や管理職等の管理能力が低い、業務の指示が不明確、不十分	24	14.8%
(3) 上司や同僚との仕事上の意思疎通がうまくいかない	25	15.4%
(4) 上司や同僚の介護能力が低い	13	8.0%
(5) 自分と合わない上司や同僚がいる	32	19.8%
(6) 部下の指導が難しい	48	29.6%
(7) ケアの方法等について意見交換が不十分	30	18.5%
(8) 悩みの相談相手がない、相談窓口がない	20	12.3%
(9) その他 ()	4	2.5%
(10) 特に悩み、不安、不満等を感じていない	48	29.6%
無回答	7	4.3%
計	266	164.2%

※構成比は回答者数162件を100%とする。

○ 「その他」の記述

- ・業務が多忙のため、職員間のモチベーションが上がらず、職場間の雰囲気も悪い
- ・同僚に自分だけ日曜日をすべて休んでいる人がいて、日曜日に休めない
- ・その都度問題に取り組み対処している

(3) あなたが利用者及び利用者の家族について、悩み、不安、不満等を感じていることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 利用者に適切なケアができていないか不安がある
2. 利用者は何をやってももらっても当然だと考えている
3. 利用者の行動や言動が理解できずに対処方法が分からない
4. 利用者と家族の希望が一致しない
5. 利用者や、その家族との人間関係がうまくいかない
6. 禁じられている医行為を求められる
7. (医行為以外で) 定められたサービス以外の仕事を求められる
8. 利用者の家族から必要なサポート・理解を得られない
9. 良かれと思ってしたことが利用者に理解されない

勤務体制を決める際に職員の要望を聞く機会の設定	3	3
採用時における賃金・勤務時間の説明	4	4
介護能力を適切に評価する仕組み	5	5
能力に見合った仕事への配置	6	6
介護能力の向上に向けた研修	7	7
実務の中で、上司や先輩から指導や助言を受ける機会の設定	8	8
介護に関する事例検討会の開催	9	9
定期的な健康診断の実施	10	10
介助しやすい施設づくりや福祉機器等の導入	11	11
事故やトラブルへの対応マニュアル作成等の体制作り	12	12
事業所内の相談援助体制の設定	13	13
その他 ()	14	14
役立つと考えられることはない		15

15 職場における取組【複数回答】

	十分行われている		不安等解消に役に立つ	
	回答数	構成比	回答数	構成比
(1) キャリアアップの仕組みの整備	45	27.8%	67	41.4%
(2) 働き方や仕事内容、キャリアについて上司と相談する機会の設定	60	37.0%	61	37.7%
(3) 勤務体制を決める際に職員の要望を聞く機会の設定	60	37.0%	63	38.9%
(4) 採用時における賃金・勤務時間の説明	78	48.1%	40	24.7%
(5) 介護能力を適切に評価する仕組み	33	20.4%	63	38.9%
(6) 能力に見合った仕事への配置	46	28.4%	58	35.8%
(7) 介護能力の向上に向けた研修	54	33.3%	77	47.5%
(8) 実務の中で、上司や先輩から指導や助言を受ける機会の設定	61	37.7%	70	43.2%
(9) 介護に関する事例検討会の開催	43	26.5%	57	35.2%
(10) 定期的な健康診断の実施	115	71.0%	53	32.7%
(11) 介助しやすい施設づくりや福祉機器等の導入	24	14.8%	58	35.8%
(12) 事故やトラブルへの対応マニュアル作成等の体制作り	63	38.9%	56	34.6%
(13) 事業所内の相談援助体制の設定	30	18.5%	48	29.6%
(14) その他	2	1.2%	1	0.6%
(15) 役立つと考えられることはない	-	-	4	2.5%
無回答	27	16.7%	23	14.2%
計	741	457.4%	799	493.2%

※構成比は回答者数162件を100%とする。

【市の施策について】

16. 市では介護職員の確保・定着に取り組んでいます。行政が行う施策について、どのような支援が必要だと思いますか。(回答は3つまで。あてはまる番号に○)

1. 福祉・介護に関する普及啓発	6. 潜在的有資格者の掘り起し
2. 介護職のイメージアップ	7. 職場環境の改善
3. 福祉・介護の現場の紹介	8. 職員のメンタルヘルスケア
4. 職業紹介、就職相談会等による就職支援	9. その他 ()
5. 資格取得研修等の開催	10. 特になし

17 勤務している事業所の法人格（経営主体）		
	回答数	構成比
(1) 株式会社・有限会社・個人	74	45.7%
(2) 社会福祉法人	65	40.1%
(3) 医療法人	9	5.6%
(4) 合同会社・合名会社・合資会社	0	0.0%
(5) 社団法人・財団法人	9	5.6%
(6) NPO法人	1	0.6%
(7) その他	0	0.0%
(8) わからない	0	0.0%
無回答	4	2.5%
計	162	100.0%

※選択肢に不備があったため「民間企業（株式会社・個人）」「株式会社・有限会社」を合算しています

18. あなたが働いている事業所及び法人の従業員数についてお伺いします。

(1) 事業所の従業員数は何人ですか。（1つに○）

1. 5人未満	5. 50人以上100人未満
2. 5人以上10人未満	6. 100人以上
3. 10人以上20人未満	7. わからない
4. 20人以上50人未満	

18-1 事業所の従業員数		
	回答数	構成比
(1) 5人未満	25	15.4%
(2) 5人以上10人未満	28	17.3%
(3) 10人以上20人未満	26	16.0%
(4) 20人以上50人未満	31	19.1%
(5) 50人以上100人未満	16	9.9%
(6) 100人以上	29	17.9%
(7) わからない	6	3.7%
無回答	1	0.6%
計	162	100.0%

(2) 同じ法人の中に、今働いている事業所とは別の事業所がありますか。（1つに○）

1. ある	2. ない→20へ
-------	-----------

18-2 法人内の別事業所の有無		
	回答数	構成比
(1) ある	128	79.0%
(2) ない	23	14.2%
無回答	11	6.8%
計	162	100.0%

【(2) で、「1. ある」に○を付けた方のみお答えください。】

(2-1) 法人全体の従業員数は何人ですか。(1つに○)

1. 49人未満	4. 300人以上500人未満
2. 50人以上100人未満	5. 500人以上
3. 100人以上300人未満	6. わからない

18-3 法人全体の従業員数		
	回答数	構成比
(1) 49人未満	10	6.2%
(2) 50人以上100人未満	27	16.7%
(3) 100人以上300人未満	38	23.5%
(4) 300人以上500人未満	9	5.6%
(5) 500人以上	26	16.0%
(6) わからない	20	12.3%
無回答	32	19.8%
計	162	100.0%

19. あなたが今働いている事業所の主な介護サービスの種類は次のうちどれですか。

※主なサービスの種類 1つに○を付けてください。

[居宅サービス]	[地域密着型サービス]
1. 訪問介護	14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
2. 訪問入浴介護	15. 夜間対応型訪問介護
3. 訪問看護	16. 認知症対応型通所介護
4. 訪問リハビリテーション	17. 小規模多機能型居宅介護
5. 居宅療養管理指導	18. 認知症対応型共同生活介護
6. 通所介護	19. 地域密着型特定施設入居者生活介護
7. 通所リハビリテーション	20. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
8. 短期入所生活介護	21. 地域密着型通所介護
9. 短期入所療養介護	
10. 特定施設入居者生活介護	
[施設サービス]	[その他]
11. 介護老人福祉施設	22. 居宅介護支援
12. 介護老人保健施設	23. 分からない
13. 介護療養型医療施設	

19 事業所の主な介護サービス種類

	回答数	構成比
(1) 訪問介護	16	9.9%
(2) 訪問入浴介護	1	0.6%
(3) 訪問看護	0	0.0%
(4) 訪問リハビリテーション	2	1.2%
(5) 居宅療養管理指導	0	0.0%
(6) 通所介護	22	13.6%
(7) 通所リハビリテーション	1	0.6%
(8) 短期入所生活介護	3	1.9%
(9) 短期入所療養介護	0	0.0%
(10) 特定施設入居者生活介護	4	2.5%
(11) 介護老人福祉施設	12	7.4%
(12) 介護老人保健施設	4	2.5%
(13) 介護療養型医療施設	0	0.0%
(14) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	0.6%
(15) 夜間対応型訪問介護	0	0.0%
(16) 認知症対応型通所介護	2	1.2%
(17) 小規模多機能型居宅介護	0	0.0%
(18) 認知症対応型共同生活介護	8	4.9%
(19) 地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0.0%
(20) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	2	1.2%
(21) 地域密着型通所介護	5	3.1%
(22) 居宅介護支援	33	20.4%
(23) 分からない	3	1.9%
無回答・その他	43	26.5%
計	162	100.0%

【あなた自身について】

20. 現在の法人に就職した理由についてお伺いします。(あてはまる番号すべてに○)

1. やりたい職種・仕事内容だから
2. 働きがいのある仕事内容だと思ったから
3. 他人や社会の役に立ちたいから
4. 資格・技能が生かせるから
5. 法人の方針や理念に共感したから
6. 経営が健全で将来的に安定していそうだから
7. 通勤が便利だから
8. 労働日、労働時間が希望と合っているから
9. 賃金等の水準が適当だから
10. 教育研修等が充実しているから
11. 福利厚生が充実しているから
12. 子育て支援が充実しているから
13. その他 ()
14. 理由は特にない

20 現在の法人に就職した理由【複数回答】

	回答数	構成比
(1) やりたい職種・仕事内容だから	62	38.3%
(2) 働きがいのある仕事内容だと思ったから	53	32.7%
(3) 他人や社会の役に立ちたいから	32	19.8%
(4) 資格・技能が生かせるから	73	45.1%
(5) 法人の方針や理念に共感したから	13	8.0%
(6) 経営が健全で将来的に安定していそうだから	17	10.5%
(7) 通勤が便利だから	62	38.3%
(8) 労働日、労働時間が希望と合っているから	27	16.7%
(9) 賃金等の水準が適当だから	14	8.6%
(10) 教育研修等が充実しているから	7	4.3%
(11) 福利厚生が充実しているから	12	7.4%
(12) 子育て支援が充実しているから	4	2.5%
(13) その他（	9	5.6%
(14) 理由は特にない	6	3.7%
無回答	5	3.1%
計	396	244.4%

※構成比は回答者数162件を100%とする。

○ 「その他」の記述

- ・ なりゆき
- ・ 前任の管理者の異動に伴い紹介された
- ・ 新規施設のオープニングスタッフとして働きたかったため
- ・ 資格取得のため
- ・ 正社員への登用が確実だったから
- ・ 職業訓練校から研修(実習)でお世話になり、印象が良かったから
- ・ 声を掛けてくれた人の人柄

2 1. 現在の法人に就職したきっかけは何ですか。(1つに○)

- | |
|------------------------------|
| 1. ハローワーク・人材銀行 |
| 2. 学校・養成施設等での進路指導・あっせん |
| 3. 求人・就職情報誌・求人サイト |
| 4. 折込チラシ、新聞・雑誌の広告 |
| 5. 法人又は施設、事業所のホームページ |
| 6. 就職セミナー(就職説明会) |
| 7. 友人・知人からの紹介 |
| 8. ボランティア、実習 |
| 9. 介護職員基礎研修講座等を通じて施設・事業所を知った |
| 10. 施設・事業所からの就職の働きかけ |
| 11. 民間の職業紹介 |
| 12. その他 () |

21 現在の法人に就職したきっかけ		
	回答数	構成比
(1) ハローワーク・人材銀行	24	14.8%
(2) 学校・養成施設等での進路指導・あっせん	6	3.7%
(3) 求人・就職情報誌・求人サイト	15	9.3%
(4) 折込チラシ、新聞・雑誌の広告	36	22.2%
(5) 法人又は施設、事業所のホームページ	8	4.9%
(6) 就職セミナー（就職説明会）	1	0.6%
(7) 友人・知人からの紹介	45	27.8%
(8) ボランティア、実習	4	2.5%
(9) 介護職員基礎研修講座等を通じて施設・事業所を知った	3	1.9%
(10) 施設・事業所からの就職の働きかけ	2	1.2%
(11) 民間の職業紹介	3	1.9%
(12) その他	8	4.9%
無回答	7	4.3%
計	162	100.0%

○ 「その他」の記述

- ・会社設立、起業
- ・近所だった
- ・飛び込みで来て現理事長と話をしたことがきっかけ
- ・婚家が法人経営者だったから
- ・法人の広報紙
- ・仕事上かかわりのある人から声を掛けられた

22. これまでのお仕事の経験についてお伺いします。

(1) 学校卒業後、現在の仕事に就く前に、収入を伴う仕事をしたことがありますか。
(1つに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 学校卒業後、現在の仕事以外に収入を伴う仕事をしたことがない→24へ |
| 2. 学校卒業後、現在の仕事に就く前に収入を伴う仕事をしたことがある |

22-1 就労経験の有無		
	回答数	構成比
(1) ない	21	13.0%
(2) ある	135	83.3%
無回答	6	3.7%
計	162	100.0%

【(1-1)～(1-3)は(1)で、「2.」に○を付けた方のみお答えください。】

(1-1) 介護・福祉・医療分野以外の仕事の経験はありますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. ある→(1-2)へ | 2. ない→24へ |
|--------------|-----------|

22-1-1 介護・福祉・医療分野以外の就労経験の有無		
	回答数	構成比
(1) ある	106	65.4%
(2) ない	35	21.6%
無回答	21	13.0%
計	162	100.0%

(1-2) 介護・福祉・医療分野の仕事は現在の事業所で何か所目ですか。(1つに○)

1. 2か所目	3. 4か所目
2. 3か所目	4. 5か所目以上

22-1-2 介護・福祉・医療分野の就労経験数		
	回答数	構成比
(1) 2か所目	41	25.3%
(2) 3か所目	37	22.8%
(3) 4か所目	13	8.0%
(4) 5か所目以上	18	11.1%
無回答	53	32.7%
計	162	100.0%

(1-3) 現在の仕事に就く直前の仕事では、介護サービスに関わっていましたか。(1つに○)

1. はい→(1-3-1)へ	2. いいえ→23へ
----------------	------------

22-1-3 前職は介護サービスか		
	回答数	構成比
(1) はい	69	42.6%
(2) いいえ	53	32.7%
無回答	40	24.7%
計	162	100.0%

【(1-3-1)(1-3)で、「1. はい」に○を付けた方のみお答えください。】

(1-3-1)現在の仕事に就く直前に、介護サービスに関わっていた方にお伺いします。

そのときの就業形態(1つに○)	1. 正規職員 2. 非正規職員 (パート、アルバイト、臨時職員、嘱託職員、契約社員等) 3. その他()
その事業所での勤務年数(1つに○)	1. 数か月以下 5. 3年程度 2. 半年程度 6. 4年程度 3. 1年程度 7. 5年以上 4. 2年程度
その仕事を辞めた理由(当てはまる理由すべてに○)	1. 人員整理、勸奨退職、法人解散、事業不振等のため 2. 他によい仕事、職場があったため 3. 新しい資格を取ったため 4. 収入が少なかったため

	5. 自分の将来の見込みが立たなかったため 6. 自分に向かない仕事だったため 7. 職場の人間関係に問題があったため 8. 法人や施設・事業所の理念や運営に不満があったため 9. 家族の転勤・転職又は事業所の移転のため 10. 定年・雇用契約満了のため 11. 病気・高齢のため 12. 結婚・出産・妊娠・育児のため 13. 家族の介護・看病のため 14. その他 ()
--	--

22-1-3-1① 前職の就業形態

	回答数	構成比
(1) 正規職員	43	63.2%
(2) 非正規職員	25	36.8%
計	68	100.0%

22-1-3-1② 前事業所での勤務年数

	回答数	構成比
(1) 数か月以下	4	5.9%
(2) 半年程度	3	4.4%
(3) 1年程度	5	7.4%
(4) 2年程度	6	8.8%
(5) 3年程度	10	14.7%
(6) 4年程度	13	19.1%
(7) 5年以上	27	39.7%
計	68	100.0%

22-1-3-1③ 前事業所を辞めた理由【複数回答】

	回答数	構成比
(1) 人員整理、勧奨退職、法人解散、事業不振等のため	6	3.7%
(2) 他により仕事、職場があったため	12	7.4%
(3) 新しい資格を取ったため	13	8.0%
(4) 収入が少なかったため	23	14.2%
(5) 自分の将来の見込みが立たなかったため	53	32.7%
(6) 自分に向かない仕事だったため	0	0.0%
(7) 職場の人間関係に問題があったため	28	17.3%
(8) 法人や施設・事業所の理念や運営に不満があったため	40	24.7%
(9) 家族の転勤・転職又は事業所の移転のため	5	3.1%
(10) 定年・雇用契約満了のため	2	1.2%
(11) 病気・高齢のため	6	3.7%
(12) 結婚・出産・妊娠・育児のため	8	4.9%
(13) 家族の介護・看病のため	0	0.0%
(14) その他	20	12.3%
計	216	133.3%

※構成比は回答者数162件を100%とする。

○ 「その他」の記述

- ・自分の転居のため
- ・家族経営の板挟みになり耐えられなくなったため
- ・現在の職場の立ち上げの際に声を掛けてもらったため
- ・仕事に満足し、きりが良いので辞めた
- ・正職員になれる見込みがなかったため
- ・体力的にきつくなったため
- ・腰痛が悪化したため
- ・腰痛、夜勤がきついため
- ・介護職は、妊娠・出産をすると、人手不足時に周りに迷惑を掛けたくないで、正社員で働くことに限界があり、どうしてもパートにならざるを得ない。1人目のときは産休育休を取って職場復帰したが、2人目のときは産休のみ取得し辞めてしまった。その後パートで働き子育てをしていたが、正社員でも子育てしながら働ける環境を整えてもらいたい。

23. あなた自身についてお伺いします。

性別（1つに○）	1. 男性	2. 女性
年代（1つに○）	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代	5. 50代 6. 60代 7. 70代以上
家庭での主たる生計の維持者（1つだけ○）	1. 自分（本人） 2. 配偶者 3. 親	4. 子 5. 生計費は折半等

23-1 性別		
	回答数	構成比
(1) 男性	35	21.6%
(2) 女性	107	66.0%
無回答	20	12.3%
計	162	100.0%

23-2 年代		
	回答数	構成比
(1) 10代	0	0.0%
(2) 20代	12	7.4%
(3) 30代	24	14.8%
(4) 40代	51	31.5%
(5) 50代	44	27.2%
(6) 60代	12	7.4%
(7) 70代以上	5	3.1%
無回答	14	8.6%
計	162	100.0%

23-3 家庭での主たる生計の維持者

	回答数	構成比
(1) 自分（本人）	74	45.7%
(2) 配偶者	60	37.0%
(3) 親	3	1.9%
(4) 子	1	0.6%
(5) 生計費は折半等	8	4.9%
無回答	16	9.9%
計	162	100.0%

介護サービス利用意向調査（介護サービス未利用者）集計結果

(1) 調査票の回答者について、お伺いします

問 1. このアンケートに答えていただくのはどなたですか。 (1つに〇)

1. ご本人（要介護（要支援）認定を受けた方）
2. ご本人が回答して、ご家族の方などが記入
3. ご家族の方などが本人にかわって回答

1 回答者

	回答数	構成比
(1) 本人	235	53.3%
(2) 本人が回答して、家族等が記入	49	11.1%
(3) 家族等が本人にかわって回答	144	32.7%
無回答	13	2.9%
計	441	100.0%

問 1-1. 問 1 で「3」を選んだ方にお聞きします。ご本人との続柄をお答えください。 (1つに〇)

- | | | |
|----------|------------------------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子ども | 3. その他の親族 |
| 4. 知人・友人 | 5. その他（ ） | |

1-1 本人との続柄

	回答数	構成比
(1) 配偶者	47	32.6%
(2) 子ども	75	52.1%
(3) その他の親族	14	9.7%
(4) 知人・友人	1	0.7%
(5) その他	5	3.5%
無回答	2	1.4%
計	144	100.0%

【※ご本人にかわって回答される場合は、ご本人の立場に立ってお答えください】

(2) あて名ご本人（以下、「ご本人」）について、お伺いします

問 2. ご本人の性別と年齢について、お答えください。 (それぞれ1つに〇)

1) 性別	1. 男性	2. 女性	
2) 年齢	1. 65～69歳	2. 70～74歳	3. 75～79歳
	4. 80～84歳	5. 85～89歳	6. 90歳以上

2-1 本人の性別

	回答数	構成比
(1) 男性	148	33.6%
(2) 女性	243	55.1%
無回答	50	11.3%
計	441	100.0%

2-2 本人の年齢

	回答数	構成比
(1) 65～69歳	34	7.7%
(2) 70～74歳	45	10.2%
(3) 75～79歳	70	15.9%
(4) 80～84歳	109	24.7%
(5) 85～89歳	93	21.1%
(6) 90歳以上	68	15.4%
無回答	22	5.0%
計	441	100.0%

問 3. ご本人のお住まいはどちらの地域ですか。 (1つに〇)

1. 佐倉地区	4. 根郷地区	7. 千代田・染井野地区
2. 臼井地区	5. 和田地区	
3. 志津地区	6. 弥富地区	

3 居住地区

	回答数	構成比
(1) 佐倉地区	122	27.7%
(2) 臼井地区	64	14.5%
(3) 志津地区	176	39.9%
(4) 根郷地区	44	10.0%
(5) 和田地区	7	1.6%
(6) 弥富地区	8	1.8%
(7) 千代田・染井野地区	12	2.7%
無回答	8	1.8%
計	441	100.0%

問 4. 現在のご本人の介護度は次のうちどれですか。

(1つに〇)

1. 要支援1	2. 要支援2	3. 要介護1	4. 要介護2
5. 要介護3	6. 要介護4	7. 要介護5	8. わからない

4 現在の介護度

	回答数	構成比
(1) 要支援1	192	43.5%
(2) 要支援2	106	24.0%
(3) 要介護1	37	8.4%
(4) 要介護2	29	6.6%
(5) 要介護3	8	1.8%
(6) 要介護4	16	3.6%
(7) 要介護5	23	5.2%
(8) わからない	12	2.7%
無回答	18	4.1%
計	441	100.0%

問 5. ご本人が要支援・要介護状態になった主な原因は何ですか。

(あてはまるものにすべて〇)

1. 脳血管疾患	2. 高齢による衰弱	3. 転倒・骨折
4. 認知症	5. 関節疾患（リウマチなど）	6. 心臓病
7. 呼吸器疾患	8. 糖尿病	9. パーキンソン病
10. その他（ ）		

5 要支援・要介護状態になった主な原因【複数回答】

	回答数	構成比
(1) 脳血管疾患	57	12.9%
(2) 高齢による衰弱	101	22.9%
(3) 転倒・骨折	90	20.4%
(4) 認知症	73	16.6%
(5) 関節疾患（リウマチなど）	44	10.0%
(6) 心臓病	27	6.1%
(7) 呼吸器疾患	25	5.7%
(8) 糖尿病	27	6.1%
(9) パーキンソン病	11	2.5%
(10) その他()	115	26.1%
無回答	26	5.9%
計	596	135.1%

※構成比は回答者数441件を100%とする。

○ 「その他」の記述内容

- ・ S字結腸によるねじれ・がん、がん手術・膠原病・てんかん・うつ病・統合失調症
- ・メンタル・圧迫骨折・一次性ネフローゼ（難病）・下肢静脈瘤・眼病

- ・身体障害者手帳第1級「視力障害及び視野障害」両眼・失明・股関節・事故・交通事故
- ・高齢のため・腰痛・腰部手術・腰部脊椎管狭窄症・坐骨神経痛・静脈瘤・術後衰弱・消化器疾患
- ・障害者・食道炎・橋本病・高血圧・心疾患・震災圧迫骨折後遺症・腎疾患
- ・腎臓摘出手術と腎ろう造設術・腎不全により人工透析・脊髄小脳変性症・脊椎梗塞・脊椎管狭窄症
- ・足が悪い、歩行困難・足の切断・幼児期のまひ(老齢になり歩行困難)・多発性節炎・大腸がん手術
- ・長期入院・直接の原因は不明・直腸がん後遺症による手足の痺れ(特に足の底・裏)・椎間板ヘルニア
- ・潰瘍・冬季凍瘡疾患(皮膚科)・頭位めまい症・もやもや病・難聴・乳癌、手足のしびれ・脳幹脳炎
- ・脳腫瘍・肺炎や精神的不安・肺炎球菌の予防接種・肺血栓塞栓症による人工心肺挿入による後遺症
- ・左足の付け根・発達機能・知的障害・泌尿器・脳神経・膝の手術・物忘れ・変形性股関節症
- ・慢性骨髄性白血病・視覚障害・緑内障・加齢黄斑変性・網膜色素変性症・両股関節機能全廃
- ・両膝関節症による歩行困難・両膝関節人工骨置換手術をしたため・膀胱癌、貧血・膀胱機能障害
- ・メニエール病・頸椎弓形術・脊髄除圧術による後遺症・食道がんによる衰弱・頸椎後縦靭帯骨化症

問 6. 初めて介護認定を受けてから現在までの期間はどのくらいですか。 (1つに○)

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 半年以内 | 2. 半年以上～1年未満 | 3. 1年以上～2年未満 |
| 4. 2年以上～3年未満 | 5. 3年以上～5年未満 | 6. 5年以上 |

6 介護認定を受けてから現在までの期間

	回答数	構成比
(1) 半年以内	33	7.5%
(2) 半年以上～1年未満	73	16.6%
(3) 1年以上～2年未満	98	22.2%
(4) 2年以上～3年未満	72	16.3%
(5) 3年以上～5年未満	64	14.5%
(6) 5年以上	73	16.6%
無回答	28	6.3%
計	441	100.0%

問 6 で 3. ～ 6. に ○ をつけた方にお伺いします。

問 6-1. 現在の要介護度は1年前と比べてどのようになっていますか。 (1つに○)

- | |
|--------------------|
| 1. 要介護度は上がった(悪化した) |
| 2. 要介護度は下がった(改善した) |
| 3. 変化していない |

6-1 1年前との介護度の比較

	回答数	構成比
(1) 要介護度は上がった(悪化した)	93	30.3%
(2) 要介護度は下がった(改善した)	42	13.7%
(3) 変化していない	146	47.6%
無回答	26	8.5%
計	307	100.0%

問 7. ご本人の現在の世帯構成を、以下の中からお答えください。

(1つに〇)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. ひとり暮らし | 4. 子や孫などと同居 |
| 2. 夫婦二人のみ暮らしで二人とも65歳以上 | 5. 1～4以外で全員が65歳以上 |
| 3. 夫婦二人のみ暮らしで一人だけが65歳以上 | 6. その他 |

7 現在の世帯構成

	回答数	構成比
(1) ひとり暮らし	83	18.8%
(2) 夫婦二人のみ暮らしで二人とも65歳以上	143	32.4%
(3) 夫婦二人のみ暮らしで一人だけが65歳以上	8	1.8%
(4) 子や孫などと同居	148	33.6%
(5) 1～4以外で全員が65歳以上	6	1.4%
(6) その他	33	7.5%
無回答	20	4.5%
計	441	100.0%

(3) ご本人のお住まいと外出の状況について、お伺いします

問 8. ご本人のお住まいは次のうちどれですか。

(1つに〇)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 持ち家の戸建て住宅 | 6. 公営住宅 |
| 2. 持ち家の集合住宅 | 7. サービス付き高齢者向け住宅 |
| 3. 民間賃貸アパート | 8. 有料老人ホーム |
| 4. 民間賃貸マンション | 9. その他 |
| 5. 民間賃貸の戸建て | |

8 本人の住居

	回答数	構成比
(1) 持ち家の戸建て住宅	367	83.2%
(2) 持ち家の集合住宅	25	5.7%
(3) 民間賃貸アパート	8	1.8%
(4) 民間賃貸マンション	4	0.9%
(5) 民間賃貸の戸建て	4	0.9%
(6) 公営住宅	1	0.2%
(7) サービス付き高齢者向け住宅	4	0.9%
(8) 有料老人ホーム	2	0.5%
(9) その他	13	2.9%
無回答	13	2.9%
計	441	100.0%

問 8-1. 現在お住まいの階数をお答えください。

(1つに〇)

※一戸建てにお住まいの場合、日中生活されている階でお答えください。

1. 1階 2. 2階 3. 3階 4. 4階 5. 5階 6. 6階以上

9-1 適していないと思われる理由【複数回答】

	回答数	構成比
(1) ご本人の専用の居室がないこと	42	9.5%
(2) 室内、室外に段差があり、移動に支障がある	143	32.4%
(3) 階段がある	141	32.0%
(4) 室内や廊下に手すりが付いていない	120	27.2%
(5) 廊下などの通路が狭い	61	13.8%
(6) エレベーターが設置されていない	57	12.9%
(7) 風呂場に介助者が一緒に入れない	49	11.1%
(8) 浴槽の立ち上がりが高い	87	19.7%
(9) 風呂場に手すりが付いていない	108	24.5%
(10) 風呂場のドアが開けにくい	27	6.1%
(11) トイレに介助者が一緒に入れない	85	19.3%
(12) トイレが車椅子で利用できない	126	28.6%
(13) トイレに手すりが付かない	78	17.7%
(14) トイレのドアが開けにくい	20	4.5%
(15) その他	11	2.5%
無回答	8	1.8%
計	1163	263.7%

※構成比は回答者数441件を100%とする。

○ 「その他」の記述内容

- ・和式の為
- ・古くて改造することができない
- ・医療措置を常に必要とする
- ・風呂場が2階にある
- ・居室が2階である

問 10. 買い物、通院などの生活に必要な外出をどのくらいしていますか。(1つに○)

1. 週に5～7日(ほぼ毎日外出する)	6. ほとんど外出しない
2. 週に3～4日くらい外出する	} 問 10-2. へお進みください
3. 週に1～2日くらい外出する	
4. 月に2～3回くらい外出する	
5. 月に1回程度外出する	
} 問 10-1. へお進みください	

問 10-2. 問 10. で「6. ほとんど外出しない」とお答えの方にお伺いします。外出をしない理由は、次のどれですか。 (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|---------------------------------|
| 1. 病気 | 7. 外での楽しみがない |
| 2. 障害（脳卒中の後遺症など） | 8. 経済的に出られない |
| 3. 足腰などの痛み | 9. 交通手段がない |
| 4. トイレの心配（失禁など） | 10. 介助が必要なため |
| 5. 耳の障害（聞こえの問題など） | 11. その他（ ） |
| 6. 目の病気 | |

10-2 外出をしない理由【複数回答】	回答数	構成比
(1) 病気	36	46.2%
(2) 障害（脳卒中の後遺症など）	10	12.8%
(3) 足腰などの痛み	23	29.5%
(4) トイレの心配（失禁など）	8	10.3%
(5) 耳の障害（聞こえの問題など）	9	11.5%
(6) 目の病気	7	9.0%
(7) 外での楽しみがない	9	11.5%
(8) 経済的に出られない	2	2.6%
(9) 交通手段がない	7	9.0%
(10) 介助が必要なため	30	38.5%
(11) その他（ ）	10	12.8%
計	151	193.6%

※構成比は無回答1件を除く78件を100%とする。

○ 「その他」の記述内容

- ・発達機能・知的障害のため、1人では外出できない
- ・歩行不可
- ・足腰が弱った
- ・本人が希望しない
- ・寝たきり、病院
- ・入院中のため

(4) 介護保険料に関するお考えについて、お伺いします

問 11. 現在、ご本人の支払っている介護保険料について家計への影響は次のうちどれに近いですか。 (1つに○)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 大きい | 2. やや大きい | 3. 適当である |
| 4. やや小さい | 5. 小さい | 6. わからない |

11 介護保険料の家計への影響		
	回答数	構成比
(1) 大きい	106	24.0%
(2) やや大きい	125	28.3%
(3) 適当である	102	23.1%
(4) やや小さい	0	0.0%
(5) 小さい	13	2.9%
(6) わからない	58	13.2%
無回答	37	8.4%
計	441	100.0%

問 12. 介護保険制度は、介護が必要な方にサービスを提供する費用として皆様のご負担（1～2割）の他に40歳以上の方から徴収した保険料などを充てております。

介護保険制度で提供する介護サービスや介護予防のサービスの範囲について、ご本人の考えに最も近いものは、次のうちどれですか。（1つに〇）

1. 保険料が高くなっても、できるだけ多くの介護サービスが充実していればよい
2. 保険料があまり高くないように、保険で提供するサービスを限定する
3. 現状のままがよい
4. 介護サービスについては、保険の提供を受けなくとも、家族の介護や個人の費用負担で賄えばよい
5. その他（ ）
6. わからない

12 介護保険制度で提供する介護サービスや介護予防のサービスの範囲		
	回答数	構成比
(1) 保険料が高くなっても、できるだけ多くの介護サービスが充実していればよい	48	10.9%
(2) 保険料があまり高くないように、保険で提供するサービスを限定する	163	37.0%
(3) 現状のままがよい	79	17.9%
(4) 保険の提供を受けなくとも、家族の介護や個人の費用負担で賄えばよい	3	0.7%
(5) その他()	17	3.9%
(6) わからない	87	19.7%
無回答	44	10.0%
計	441	100.0%

○ 「その他」の記述内容

- ・30才から徴収するなど検討頂ければと
- ・介護サービスは充実して欲しいですが、保険料が高くなるのも生活が苦しくなるのでむずかしいところです。
- ・介護サービスを受けていない高齢者にとっては高すぎる。
- ・介護保険料を払っていても、実際自分では受けることが困難である。デイサービスを申し込んだことがあるが、月に2万以上の支払いができない。結局申込書を書いたのみであきらめてしまった。介護保険制度は、裕福な老人の為のものであり、無料でないとい貧乏人には意味がない。家族の負担が身体

的、経済的、精神的につらい

- ・現在は自立しておりますが、出来なくなったときに考えます
- ・現在入院している
- ・個人負担の上昇はなるべくおさえ、公費負担を充実
- ・自力、気力で今少し頑張りたい…
- ・収入が無いため払えない人を考えてもらいたい。
- ・所得に応じて、負担の割合を変え、所得が低い人も必要なサービスを受けられるよう、また介護従事者等の収入も増えるよう、高所得者の負担を増やしても、それらに回してほしい
- ・低所得者においては役所が行う
- ・年金生活のため介護サービスは受けられない
- ・必要な人に必要なサービス、老人もなるべく自立してほしい
- ・必要な人に必要な介護が充実できれば現在の保険料で出来るはず
- ・保険料を高くすることなく、サービスを
- ・無年金なので、サービスが利用できない。生活が厳しい
- ・老老介護のため、保険料が高くならずに介護サービスの充実を希望します
- ・老老介護者にも保険料を支払う制度が望ましい

(5) 介護保険サービスの利用について、お伺いします

問 13. 平成29年4月～7月の間に介護保険サービスを利用していない理由をお伺いします。最もあてはまるものに○をつけてください。(1つに○)

1. 病院に入院していたから
2. 特別養護老人ホーム、老人保健施設などの施設サービスの空きを待っているから
3. 利用したいサービス(施設サービスを除く)を申し込んだところ、空がないなどの理由で断られた→(サービス名:)
4. サービスを利用しなくても家族の介護で生活できる
5. サービスを利用しなくても自分の力で生活できる
6. 普段介護をしてくれている人が急病など緊急のときだけサービスを利用したい
7. 短期入所サービス(短期入所生活介護・短期入所療養介護)のみを利用したい
8. 住宅改修費の支給や福祉用具購入費の支給のみを利用したから
9. 利用したいと思うサービスがない
10. サービスを利用するための手続きなどが複雑で面倒だから
11. 要介護者本人が家族・親族以外の介護を好まないから
12. 他人を自宅に入れたくないから
13. 外出したり、他人とかかわったりしたくないから
14. 事業者とのトラブルがあったから
15. 利用料の負担が大変だから
16. その他()

13 介護保険サービスを利用していない理由

	回答数	構成比
(1) 病院に入院していたから	59	13.4%
(2) 施設サービスの空きを待っているから	1	0.2%
(3) 利用したいサービスを申し込んだところ、空きがないなどの理由で断られた	2	0.5%
(4) サービスを利用しなくても家族の介護で生活できる	82	18.6%
(5) サービスを利用しなくても自分の力で生活できる	76	17.2%
(6) 普段介護をしてくれている人が急病など緊急のときだけサービスを利用したい	26	5.9%
(7) 短期入所サービスのみを利用したい	1	0.2%
(8) 住宅改修費や福祉用具購入費の支給のみを利用したから	8	1.8%
(9) 利用したいと思うサービスがない	16	3.6%
(10) サービス利用手続きなどが複雑で面倒だから	7	1.6%
(11) 要介護者本人が家族・親族以外の介護を好まないから	17	3.9%
(12) 他人を自宅に入れたくないから	10	2.3%
(13) 外出したり、他人とかがかわったりしたくないから	8	1.8%
(14) 事業者とのトラブルがあったから	2	0.5%
(15) 利用料の負担が大変だから	13	2.9%
(16) その他	28	6.3%
無回答	85	19.3%
計	441	100.0%

○ 「その他」の記述内容

- ・そろそろデイサービス等をお願いしたいと思っている所です
- ・デイサービスに行くと具合が悪くなり熱が出たりして利用しなくなった。
- ・どんな支援が受けられるのか分からないため
- ・なんとかがんばるしかない
- ・以前住んでいたところではヘルパー利用していたが、曜日・時間が合わず利用しなくなった。リウマチのため、動けなくなったときにすぐにサービスが利用できるように、毎年認定申請をしている。
- ・家事援助のサービスを受けていたが、子供たちが引っ越して来たら彼らが昼間全くいないのにサービスを全く受けられなくなった
- ・家族（入退院を繰り返し安定しない）の介護をしているため、自分の介護サービスが受けられない
- ・家族が協力してくれるため
- ・介護のお世話にならないと出来ないことが多くなった時には介護保険サービスをお願いしてお世話になりたい。現在なんとか出来ている。
- ・介護認定調査で介護の必要度がわかるとすれば、待つ姿勢でなく、どれくらいの状況に応じた積極的な判別対応が望ましい
- ・現在リハビリ中で、自分の希望するサービスがないため

- ・現在要介護 1 の主人の世話をしているため自分のことは二の次です
- ・腰痛治療中のため
- ・今の所、家の中はツエを突いて歩けるので、(家中手すり、風呂場手すり、浴槽踏み台など、介護で利用させてもらっているから。)
- ・支援 1 をいただきましたが近くに子供がいるという事で支援をうけられません。
- ・住宅改修を実施したいが、自ら負担すべき費用の捻出が困難なため利用できていない。
(改修は、手すりやつかまるためのその他の設備)
- ・設問あわない、法の検討願う。
- ・同居している息子が介護休暇で対応していた
- ・同居家族が非協力的で適切なサービスの検討をしてくれないため
- ・同居者が他人を自宅に入れたくなく、家族・親族以外の介護を好まないため
- ・難病の為、自宅で安静にしている方が本人の為に良いと思うので。
- ・入院前はまだ何とか動いていたので、夫の介護で疲れているため自分は利用しなかった
- ・福祉用具のレンタルを利用したく申請したが、支援 2 のためレンタル利用にいたらなかった
- ・本人にまだ介護を受けるべき状態だという自覚がなく抵抗される。
- ・本人は拒否が強いが家族は利用させたく相談はしても何も進まず困っている。
- ・利用したいサービスについて、生活状況と資格により利用できない
- ・利用の希望と事業者のサービスが一致しない

問 14. 介護保険サービスについて、今後のご利用のお考えをお伺いします。(1つに○)

1. 今後も利用するつもりはない
2. 現在、利用しようと思っている・手続きを進めている
3. 病院を退院したら利用したい
4. 介護をしてくれている人の体力が低下するなど、介護を受けられなくなったら、利用したい
5. 介護をしてくれている人が急病や外出など、緊急の時に利用したい
6. 身の回りのことが自分でできなくなったら、利用したい
7. 希望するサービスに空きができれば、利用したい
8. その他 ()

14 今後のサービス利用意向

	回答数	構成比
(1) 今後も利用するつもりはない	11	2.5%
(2) 現在、利用しようと思っている・手続きを進めている	17	3.9%
(3) 病院を退院したら利用したい	38	8.6%
(4) 介護をしてくれている人の体力が低下するなど、介護を受けられなくなったら、	61	13.8%

利用したい		
(5) 介護をしている人が急病や外出など、緊急の時に利用したい	30	6.8%
(6) 身の回りのことが自分でできなくなったら、利用したい	181	41.0%
(7) 希望するサービスに空きができたなら、利用したい	6	1.4%
(8) その他	23	5.2%
無回答	74	16.8%
計	441	100.0%

○ 「その他」の記述内容

- ・今後利用するかもしれないが、まだその時だと思わない
- ・現時点ではわからない
- ・今後も入院等が続くと思われるので
- ・今まで介護サービスを受けていたが、入院したので
- ・利用できる状態でない
- ・本人は介護のことは分からないので、介護している側は特別養護老人ホームの入所を希望する
- ・利用するための自己負担の蓄えが急務である
- ・利用したいが、経済的負担が大きいなので利用できない
- ・風呂場、トイレ、階段、玄関から外に出るまでの手すりを利用したいと思っています
- ・認知症が進み、手に負えなくなったら、利用する
- ・まだ若いため、あまり利用するサービスがない
- ・希望するサービスが受けられる施設をさがしている
- ・もう少し介護度が上がったなら利用したい
- ・不安解消のための手助け
- ・家事援助、移動(買い物等の外出)について援助してもらいたい
- ・腰痛がよくなったら利用したい
- ・利用したいが、利用方法が判らない
- ・同居している息子が介護休暇で対応していた対応していたが会社への出勤が始まる為今後サービスの利用を検討中です
- ・本人が受けたいという気持ちになってくれたら
- ・本人は利用したがらないが、介護している家族としては利用してほしい
- ・本人は拒否が強いが家族は利用させたい為、何とか方法を考えたい
- ・本人は利用したがらないが、介護している家族としては利用してほしい

問 14 で 2. ～ 7. に○をつけた方にお伺いします。

問 14-1. 介護保険サービスのうち、今後利用してみたいと思うサービスはどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問介護（ホームヘルプサービス）	10. 短期入所生活介護（ショートステイ）
2. 夜間対応型訪問介護※1	11. 短期入所療養介護（医療ショートステイ）
3. 訪問入浴介護	12. 福祉用具貸与
4. 訪問看護	13. 福祉用具購入費の支給
5. 訪問リハビリテーション	14. 住宅改修費の支給
6. 居宅療養管理指導※2	15. 小規模多機能型居宅介護 ※4
7. 通所介護（19人以上のデイサービス）	16. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ※5
8. 通所リハビリテーション（デイケア）	17. 地域密着型通所介護※6
9. 認知症対応型通所介護※3	18. 特にない

14-1 今後利用してみたいと思うサービス【複数回答】		
	回答数	構成比
(1) 訪問介護（ホームヘルプサービス）	108	24.5%
(2) 夜間対応型訪問介護	32	7.3%
(3) 訪問入浴介護	50	11.3%
(4) 訪問看護	49	11.1%
(5) 訪問リハビリテーション	36	8.2%
(6) 居宅療養管理指導	32	7.3%
(7) 通所介護（19人以上のデイサービス）	32	7.3%
(8) 通所リハビリテーション（デイケア）	38	8.6%
(9) 認知症対応型通所介護	23	5.2%
(10) 短期入所生活介護（ショートステイ）	47	10.7%
(11) 短期入所療養介護（医療ショートステイ）	34	7.7%
(12) 福祉用具貸与	82	18.6%
(13) 福祉用具購入費の支給	73	16.6%
(14) 住宅改修費の支給	73	16.6%
(15) 小規模多機能型居宅介護	16	3.6%
(16) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	25	5.7%
(17) 地域密着型通所介護	28	6.3%
(18) 特にない	50	11.3%
無回答	107	24.3%
計	935	212.0%

※構成比は回答者数 441 件を 100% とする。

○ 「その他」の記述内容

- ・ 家族の協力
- ・ 妻が介護できなくなると金銭管理が不安。子供がいないので
- ・ 運転代行のサービスが欲しい
- ・ 担当の医師がいるのでその時は相談することが出来る
- ・ なるべく家族に心配かけない様に少しでも今自分に出来る事はしたいと思っています。又少しでも毎日歩く事を心がけています
- ・ 利用料がなるべく安くなったら、私の場合は同居的な手助けがほしい
- ・ ケアハウスなので1人で暮らせている。自宅で1人生活は無理
- ・ 訪問で髪のカットをしてくれる(美容院に行けないため)
- ・ 自宅での生活は無理だと考えている
- ・ 杖を頼りに歩いています。歩きながらたばこを吸う方が多く、その煙に悩まされています。市が条例などで歩行禁煙を徹底させて欲しい。都内では、歩行喫煙に罰金を科している区もある。ぜひ佐倉市も歩行喫煙をなくすよう努めて欲しい
- ・ 体力を維持出来るリハビリテーションが気軽に利用出来たら
- ・ 病院通院時に歩くのが大変なので(難病、肺)、タクシーなどより安い乗物があると助かります(短距離) 床屋など片道だけでも
- ・ 24時間いつでも、短時間でも、付き添いの家族がいない時間でも、訪問してくれるサービスがある
- ・ 介護者への指導(リハビリや介助方法等)や、介護者のストレスや不安解消のための相談窓口など

介護サービス利用意向調査（特別養護老人ホーム入居希望者）集計結果

(1) 調査票の回答者について、おうかがいします

問 1. このアンケートに答えていただくのはどなたですか。 (1つに〇)

1. あて名のご本人（特別養護老人ホーム入所申込者）
2. ご本人が回答して、ご家族の方等が記入
3. ケアマネジャー、ホームヘルパー等の事業者
4. ご家族の方等が本人にかわって回答

1 回答者

	回答数	構成比
(1) 特別養護老人ホーム入所申込者本人	2	1.7%
(2) 本人が回答して、家族等が記入	10	8.4%
(3) 事業者	7	5.9%
(4) 家族等が本人にかわって回答	100	84.0%
無回答	0	0.0%
計	119	100.0%

問 1-1. 問 1 で「4」を選んだ方にお聞きします。ご本人との続柄をお答えください。

(1つに〇)

- | | | |
|----------|------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子ども | 3. その他の親族 |
| 4. 知人・友人 | 5. その他 () | |

1-1 本人との続柄

	回答数	構成比
(1) 配偶者	33	33.0%
(2) 子ども	56	56.0%
(3) その他の親族	11	11.0%
(4) 知人・友人	0	0.0%
(5) その他 ()	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	100	100.0%

【※ご本人にかわって回答される場合は、ご本人の立場に立ってお答えください】

(2) あて名ご本人（以下、「ご本人」）について、おうかがいします

問 2. ご本人の性別をお答えください。

(1つに〇)

1. 男 性

2. 女 性

2 性別	回答数	構成比
(1) 男	45	37.8%
(2) 女	74	62.2%
無回答	0	0.0%
計	119	100.0%

問 3. ご本人の年齢をお答えください。（平成29年9月1日現在）

(1つに〇)

1. 65～69 歳

5. 85～89 歳

2. 70～74 歳

6. 90 歳以上

3. 75～79 歳

7. 40～64 歳

4. 80～84 歳

3 年齢	回答数	構成比
(1) 65～69歳	5	4.2%
(2) 70～74歳	15	12.6%
(3) 75～79歳	12	10.1%
(4) 80～84歳	33	27.7%
(5) 85～89歳	23	19.3%
(6) 90歳以上	31	26.1%
(7) 40～64歳	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	119	100.0%

問 5. ご本人は、現在どちらにいらっしゃいますか。

(1つに○)

1. ご自宅またはご家族等の家（ショートステイ利用中や短期入院中を含む）
2. 病院、診療所（長期入院中）
3. 介護老人保健施設
4. 介護療養型医療施設
5. 養護老人ホーム
6. 介護付き有料老人ホーム
7. 軽費老人ホーム、ケアハウス
8. 認知症対応型グループホーム
9. その他（)

5 本人の所在

	回答数	構成比
(1) 自宅または家族等の家	65	54.6%
(2) 病院、診療所（長期入院中）	8	6.7%
(3) 介護老人保健施設	25	21.0%
(4) 介護療養型医療施設	2	1.7%
(5) 養護老人ホーム	4	3.4%
(6) 介護付き有料老人ホーム	7	5.9%
(7) 軽費老人ホーム、ケアハウス	0	0.0%
(8) 認知症対応型グループホーム	6	5.0%
(9) その他	2	1.7%
無回答	0	0.0%
計	119	100.0%

○ 「その他」の記述内容(原文ママ)

- ・特養の空き待ちのため入院中

問 5-1. 問 5で「1. ご自宅またはご家族等の家」に○をつけた方におうかがいします。
現在、どのような介護保険サービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

【訪問して提供されるサービス】

1. (昼間の) 訪問介護 (訪問介護員によるホームヘルプ)
2. 訪問入浴介護 (自宅に訪問して行う入浴介護)
3. 訪問看護 (看護師等が訪問して行う療養上のお世話や診療介助)
4. 訪問リハビリテーション (理学療法士が訪問して行うリハビリ)
5. 居宅療養管理指導 (医師等が訪問して行う療養上の管理や指導)

【施設に通うサービス】

6. 通所介護、通所リハビリテーション (日帰りで施設に通って受ける介護やリハビリ)

【短期間施設に泊まるサービス】

7. 短期入所 (福祉施設や医療施設への短期間の入所)

【地域密着型サービス】

8. 夜間対応型訪問介護 (巡回や通報システムによる夜間専用の訪問介護)
9. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
(定時巡回や通報システムによる 24 時間の訪問介護および看護)
10. 認知症対応型デイサービス (認知症の方に専門のケアを行う通所介護)
11. 小規模多機能型居宅介護 (通い、泊まり、訪問による介護を1事業者で行うサービス)

【その他】

12. 介護サービスを受けていない

5-1 現在利用中のサービス【複数回答】

	回答数	構成比
(1) 訪問介護	7	10.8%
(2) 訪問入浴介護	8	12.3%
(3) 訪問看護	10	15.4%
(4) 訪問リハビリテーション	3	4.6%
(5) 居宅療養管理指導	6	9.2%
(6) 通所介護、通所リハビリテーション	36	55.4%
(7) 短期入所	34	52.3%
(8) 夜間対応型訪問介護	1	1.5%
(9) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	3.1%
(10) 認知症対応型デイサービス	5	7.7%
(11) 小規模多機能型居宅介護	6	9.2%
(12) 介護サービスを受けていない	1	1.5%
無回答	1	1.5%
計	120	184.6%

※構成比は回答者数65件を100%とする。

問 6. 現在の世帯構成を、以下の中からお答えください。 (1つに○)

1. ひとり暮らし	4. 子や孫など同居
2. 夫婦二人暮らしで二人とも65歳以上	5. 1～4以外で全員が65歳以上
3. 夫婦二人暮らしで一人だけが65歳以上	6. その他

6 現在の世帯構成		
	回答数	構成比
(1) ひとり暮らし	27	22.7%
(2) 夫婦二人暮らしで二人とも65歳以上	23	19.3%
(3) 夫婦二人暮らしで一人だけが65歳以上	1	0.8%
(4) 子や孫などと同居	41	34.5%
(5) 1～4以外で全員が65歳以上	10	8.4%
(6) その他	6	5.0%
無回答	11	9.2%
計	119	100.0%

問 7. ご本人の平成29年9月1日現在の要介護度をお選びください。(1つに○)

1. 要介護1 2. 要介護2 3. 要介護3 4. 要介護4 5. 要介護5

7 要介護度		
	回答数	構成比
(1) 要介護1	1	0.8%
(2) 要介護2	3	2.5%
(3) 要介護3	46	38.7%
(4) 要介護4	35	29.4%
(5) 要介護5	29	24.4%
無回答	5	4.2%
計	119	100.0%

問 8. 現在、ご本人は次のような医療を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 経管栄養	5. たんの吸引	9. ストマ(人工肛門)
2. 胃ろう	6. 気管切開	10. 膀胱ろう
3. 酸素療法	7. じょくそうの処置	11. その他()
4. インシュリン注射	8. バルーンカテーテル留置	12. 医療処置は受けていない

8 医療の状況【複数回答】		
	回答数	構成比
(1) 経管栄養	8	6.7%
(2) 胃ろう	7	5.9%
(3) 酸素療法	2	1.7%
(4) インシュリン注射	2	1.7%
(5) たんの吸引	4	3.4%
(6) 気管切開	3	2.5%
(7) じょくそうの処置	6	5.0%
(8) バルーンカテーテル留置	8	6.7%
(9) ストマ(人工肛門)	0	0.0%
(10) 膀胱ろう	3	2.5%
(11) その他	14	11.8%
(12) 医療処置は受けていない	51	42.9%
無回答	30	25.2%
計	138	116.0%

※構成比は回答者数119件を100%とする。

○ 「その他」の記述内容

- ・ 整形外科・尿道カテーテル・間歇的導尿・通院にて認知症治療・糖尿薬・内科、眼科
- ・ メンタル通院・降圧剤処方・輸血・服薬・腰痛

問 9. ご本人は、入所についてどのように考えていますか。 (1つに○)

1. 在宅で介護を受けながら暮らしたい
2. 在宅で暮らしたいが、やむを得ず入所するしかない
3. 在宅でなく、施設へ入所したい

9 入所に対する本人の考え	回答数	構成比
(1) 在宅で介護を受けながら暮らしたい	26	21.8%
(2) 在宅で暮らしたいが、やむを得ず入所するしかない	52	43.7%
(3) 在宅でなく、施設へ入所したい	30	25.2%
無回答	11	9.2%
計	119	100.0%

問 10. ご本人が、安心して在宅生活をするために、どのようなサービスがあればよいと思いますか。 (主なもの3つまで○)

1. 24時間対応可能な自宅への訪問介護や訪問看護
2. 医師の訪問診療（内科、歯科、神経科、精神科等）
3. 急な宿泊の希望に対応できるショートステイ
4. 通所の希望に柔軟に対応できるデイサービス
5. 障がいや医療への対応ができるデイサービス
6. 希望により宿泊もできるデイサービス
7. 配食や買い物支援、ゴミ出し、通院介助などの日常生活のお世話
8. 相談や話し相手などの訪問サービス
9. その他（)
10. 特にない

10 安心して在宅生活をするために必要なサービス【複数回答】	回答数	構成比
(1) 24時間対応可能な自宅への訪問介護や訪問看護	59	49.6%
(2) 医師の訪問診療	43	36.1%
(3) 急な宿泊の希望に対応できるショートステイ	55	46.2%
(4) 通所の希望に柔軟に対応できるデイサービス	24	20.2%
(5) 障がいや医療への対応ができるデイサービス	15	12.6%
(6) 希望により宿泊もできるデイサービス	25	21.0%
(7) 配食や買い物支援、ゴミ出し、通院介助などの日常生活のお世話	23	19.3%
(8) 相談や話し相手などの訪問サービス	9	7.6%
(9) その他	4	3.4%
(10) 特にない	2	1.7%
無回答	17	14.3%
計	276	231.9%

※構成比は回答者数119件を100%とする。

○ 「その他」の記述内容

- ・全盲でも受け入れてくれる施設
- ・介護士の柔軟な派遣（仕事をしているので）
- ・本人の介護は娘がしてくれるので娘の負担をへらせるサービスがあるといい
- ・救急医療対応の改善(実質佐倉市内の病院では救急対応はほぼ受診拒否しており、成田など遠方に送られている。佐倉市内の病院の救急対応拒否は早急な改善を求む。(佐倉市内の病院・医院の医療の質の高さが、成田市、千葉市内等比べ極めて劣る。改善を希望する。)
- ・在宅生活は不可能

問 11. 特別養護老人ホームの整備に関するお考えに最も近いものは次のうちどれですか。 (1つに○)

1. 保険料は高くなっていいから、施設を増やしてほしい
2. 保険料とのバランスをとって、必要最小限だけ施設を増やしてほしい
3. 保険料が高くなるのは困るから、施設はあまり増やさないでほしい
4. わからない

11 特別養護老人ホームの整備に関する考え

	回答数	構成比
(1) 保険料は高くなっていいから、施設を増やしてほしい	14	11.8%
(2) 保険料とのバランスをとって、必要最小限だけ施設を増やしてほしい	84	70.6%
(3) 保険料が高くなるのは困るから、施設はあまり増やさないでほしい	4	3.4%
(4) わからない	12	10.1%
無回答	5	4.2%
計	119	100.0%

※構成比は回答者数119件を100%とする。

問 12. 特別養護老人ホーム以外に、今後利用してもよいと思われるサービスはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 特別養護老人ホーム以外は利用したくない
2. 介護老人保健施設（数か月入所して介護、看護、リハビリを受ける施設）
3. 介護療養型医療施設（入所して介護を含めた長期の療養を受ける施設）
4. 介護付き有料老人ホーム（入居してスタッフに介護を受けながら生活する住宅）
5. 認知症対応型グループホーム（認知症の方が少人数で家庭的な共同生活を送る住宅）
6. 小規模多機能型居宅介護（通所、宿泊、訪問介護を1つの事業所で行う）
7. その他、見守り付きの高齢者住宅等

12-1 特別養護老人ホーム以外に今後利用してもよいと思うサービス【複数回答】

	回答数	構成比
(1) 特別養護老人ホーム以外は利用したくない	56	47.1%
(2) 介護老人保健施設	22	18.5%
(3) 介護療養型医療施設	32	26.9%
(4) 介護付き有料老人ホーム	12	10.1%
(5) 認知症対応型グループホーム	10	8.4%
(6) 小規模多機能型居宅介護	11	9.2%
(7) その他、見守り付きの高齢者住宅等	4	3.4%
無回答	6	5.0%
計	153	128.6%

※構成比は回答者数119件を100%とする。

問 12-1. 問 12で「1. 特別養護老人ホーム以外は利用したくない」に○をつけた方におうかがいします。上記のサービスが特別養護老人ホームの代わりにならないと思う理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 特別養護老人ホームのほうがサービスの質がよさそうだから
2. 特別養護老人ホームのほうが料金が安そうだから
3. 終の棲家とならないものだから
4. 特別養護老人ホーム以外のサービスが、どういうものか分からないから
5. 特別養護老人ホームは、知っている事業者が運営している施設だから
6. その他（)

12-2 他サービスが特別養護老人ホームの代わりにならないと思う理由【複数回答】

	回答数	構成比
(1) 特別養護老人ホームのほうがサービスの質がよさそうだから	20	35.7%
(2) 特別養護老人ホームのほうが料金が安そうだから	37	66.1%
(3) 終の棲家とならないものだから	13	23.2%
(4) 特別養護老人ホーム以外のサービスが、どういうものか分からない	9	16.1%
(5) 知っている事業者が運営している施設だから	5	8.9%
(6) その他	6	10.7%
無回答	2	3.6%
計	92	164.3%

※構成比は回答者数119件を100%とする。

○ 「その他」の記述内容

- ・ 共倒れしないため
- ・ 特養が本人の状態に合っていると思われる為
- ・ 介護が軽いうちは他でも何とかなるが、重くなると出されたから。
- ・ 特養以外を利用できる段階にないため
- ・ 生活が苦しく料金が高いと生きていけないので
- ・ 安心感がある

問 13. 特別養護老人ホームに最初に入所申込みをされたのはいつですか。(1つに○)

1. 半年より 前	4. 2年～3年より 前
2. 半年～1年より 前	5. 3年～5年より 前
3. 1年～2年より 前	6. 5年以上 前

13 特別養護老人ホームに最初に入所申込みをした時期

	回答数	構成比
(1) 半年より 前	25	21.0%
(2) 半年～1年より 前	20	16.8%
(3) 1年～2年より 前	18	15.1%
(4) 2年～3年より 前	14	11.8%
(5) 3年～5年より 前	14	11.8%
(6) 5年以上 前	22	18.5%
無回答	6	5.0%
計	119	100.0%

問 14. 特別養護老人ホームに最初に申し込んだときと比較して、現在のご本人の要介護度はどう変化されましたか。(1つに○)

1. 要介護度は上がった(悪化した)	3. 変化していない
2. 要介護度は下がった(改善した)	

14 要介護度の変化

	回答数	構成比
(1) 要介護度は上がった(悪化した)	62	52.1%
(2) 要介護度は下がった(改善した)	8	6.7%
(3) 変化していない	39	32.8%
無回答	10	8.4%
計	119	100.0%

問 15. 特別養護老人ホームに入所を申し込まれた理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○をし、最も大きな理由1つに◎をつけてください。)

1. 専門的な介護が受けられて安心だから
2. すぐには入所ができないので、早めに申し込んでおきたいから
3. 在宅では施設より金銭的な負担が大きいから
4. ご本人の身体状況が悪くなり、介護の必要性が大きくなったから
5. ご本人が入所を希望しているから
6. 病院や施設を退院・退所する(予定である)が、その後の住居が決まっていないから
7. 住まいの環境上、在宅での介護が難しいから
8. 家族等の介護者が高齢や病気、ストレス等により介護することが厳しいから
9. 家族等の介護者が仕事をしているから
10. 同居者の中に乳幼児や病気等の方がいて、介護に負担がかかるから
11. その他 ()

15-1 特別養護老人ホームに入所申込をした理由【最も大きな理由】

	回答数	構成比
(1) 専門的な介護が受けられて安心だから	9	7.6%
(2) すぐには入所ができないので、早めに申し込んでおきたいから	25	21.0%
(3) 在宅では施設より金銭的な負担が大きいから	1	0.8%
(4) ご本人の身体状況が悪くなり、介護の必要性が大きくなったから	21	17.6%
(5) ご本人が入所を希望しているから	2	1.7%
(6) 病院や施設を退院・退所する(予定である)が、その後の住居が決まっていないから	3	2.5%
(7) 住まいの環境上、在宅での介護が難しいから	5	4.2%
(8) 家族等の介護者が高齢や病気、ストレス等により介護することが厳しいから	16	13.4%
(9) 家族等の介護者が仕事をしているから	7	5.9%
(10) 同居者の中に乳幼児や病気等の方がいて、介護に負担がかかるから	0	0.0%
(11) その他	2	1.7%
無回答	28	23.5%
計	119	100.0%

○ 「その他」の記述内容

- ・独居のため
- ・24時間中寝たきりの人の世話は、65才以上の2人でみるのは、とても大変です。
- ・糖尿病による網膜症で失明すると言われました。独居に限界を感じています。
- ・安心だし近いから。
- ・夫婦の両方の親の介護が重なっている状況のため
- ・夫・子供がいないため、自宅での介護ができない
- ・金銭的な余裕が全くないため
- ・家族が離れた場所で暮らしていて、なおかつ介護の必要な子供がいるため、見る事が不可能
- ・介護する側も高齢(60代)で、時々子供の世話になっているから
- ・同居の妻が骨折による入退院を繰り返し、介護が不可能になり、その妻も死亡した。本人は全盲及び重度のアルツハイマーと診断され、子供はなく、方向も判別不可能となり、1人暮らしのため

15-2 特別養護老人ホームに入所申込をした理由【あてはまる理由】		
	回答数	構成比
(1) 専門的な介護が受けられて安心だから	49	41.2%
(2) すぐには入所ができないので、早めに申し込んでおきたいから	68	57.1%
(3) 在宅では施設より金銭的な負担が大きいから	9	7.6%
(4) ご本人の身体状況が悪くなり、介護の必要性が大きくなったから	62	52.1%
(5) ご本人が入所を希望しているから	9	7.6%
(6) 病院や施設を退院・退所する（予定である）が、その後の住居が決まっていないから	8	6.7%
(7) 住まいの環境上、在宅での介護が難しいから	45	37.8%
(8) 家族等の介護者が高齢や病気、ストレス等により介護することが 厳しいから	58	48.7%
(9) 家族等の介護者が仕事をしているから	36	30.3%
(10) 同居者の中に乳幼児や病気等の方がいて、介護に負担がかかるか ら	5	4.2%
(11) その他	10	8.4%
無回答	25	21.0%
計	384	322.7%

※構成比は回答者数119件を100%とする。

問 16. 特別養護老人ホームに入所したい時期はいつですか。 (1つに○)

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1. 今すぐ入所したい | |
| 2. 3か月～半年くらい先に入所したい | |
| 3. 半年～1年先に入所したい | |
| 4. 当面は入所しなくてよいが、必要になったときに入所したい | |
| 5. その他（具体的に | ） |

16 入所希望時期		
	回答数	構成比
(1) 今すぐ入所したい	46	38.7%
(2) 3か月～半年くらい先に入所したい	10	8.4%
(3) 半年～1年先に入所したい	12	10.1%
(4) 当面は入所しなくてよいが、必要になったときに入所したい	34	28.6%
(5) その他	4	3.4%
無回答	13	10.9%
計	119	100.0%

○ 「その他」の記述内容

- ・病状が安定してから入所したい
- ・今現在グループホームに入所中で退所は求められていないのでこのままでとりあえずはOKの様子
- ・ショートステイで入所中
- ・介護老人保健施設を退所させられたときから

(3) ここからは、ご家族等で、日頃中心となって介護をしている方におうかがいします。介護をしている方がいらっしゃらない場合は、質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

問 17. 中心となって介護をしている方は、あて名のご本人から見てどのようなご関係にありますか。 (1つに○)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 配偶者 | 4. 孫 |
| 2. 息子・娘 | 5. 兄弟・姉妹 |
| 3. 息子・娘の配偶者 | 6. その他 () |

17 中心となって介護をしている方との関係

	回答数	構成比
(1) 配偶者	38	31.9%
(2) 息子・娘	41	34.5%
(3) 息子・娘の配偶者	7	5.9%
(4) 孫	0	0.0%
(5) 兄弟・姉妹	5	4.2%
(6) その他	3	2.5%
無回答	25	21.0%
計	119	100.0%

問 18. 中心となって介護をしている方の性別はどちらですか。 (1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

18 中心介護者の性別

	回答数	構成比
(1) 男性	26	21.8%
(2) 女性	68	57.1%
無回答	25	21.0%
計	119	100.0%

問 19. 中心となって介護をしている方の年齢はいくつですか。 (1つに○)

- | | |
|--------------|----------|
| 1. 40歳未満 | 4. 70歳代 |
| 2. 40歳代～50歳代 | 5. 80歳以上 |
| 3. 60歳代 | |

19 中心介護者の年齢

	回答数	構成比
(1) 40歳未満	2	1.7%
(2) 40歳代～50歳代	23	19.3%
(3) 60歳代	24	20.2%
(4) 70歳代	26	21.8%
(5) 80歳以上	17	14.3%
無回答	27	22.7%
計	119	100.0%

問 20. 介護を始めてから現在までの期間は、どのくらいですか。 (1つに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 半年以内 | 5. 5年以上～7年未満 |
| 2. 半年以上～1年未満 | 6. 7年以上～10年未満 |
| 3. 1年以上～3年未満 | 7. 10年以上 |
| 4. 3年以上～5年未満 | |

20 介護を始めてから現在までの期間

	回答数	構成比
(1) 半年以内	3	2.5%
(2) 半年以上～1年未満	5	4.2%
(3) 1年以上～3年未満	20	16.8%
(4) 3年以上～5年未満	20	16.8%
(5) 5年以上～7年未満	17	14.3%
(6) 7年以上～10年未満	10	8.4%
(7) 10年以上	20	16.8%
無回答	24	20.2%
計	119	100.0%

問 21. どのくらいの頻度で介護をしていますか。 (1つに○)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 月に数日程度 |
| 2. 週に3～5日程度 | 5. その他(具体的に) |
| 3. 週に1～2日程度 | |

21 介護の頻度

	回答数	構成比
(1) ほぼ毎日	56	47.1%
(2) 週に3～5日程度	8	6.7%
(3) 週に1～2日程度	8	6.7%
(4) 月に数日程度	11	9.2%
(5) その他	7	5.9%
無回答	29	24.4%
計	119	100.0%

問 22. 介護している中で、特別養護老人ホームへの入所についてどのように考えていますか。 (1つに○)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 在宅介護を受けながら、できるだけ長く自宅で暮らしてもらいたい |
| 2. 在宅での暮らしが望ましいが、やむを得ず入所させるしかない |
| 3. 在宅でなく、施設への入所が望ましいと考えている |
| 4. 本人が希望しているので入所させたいと思う |
| 5. その他() |

22 特別養護老人ホームへの入所に関する考え

	回答数	構成比
(1) 在宅介護を受けながら、できるだけ長く自宅で暮らしてもらいたい	15	12.6%
(2) 在宅での暮らしが望ましいが、やむを得ず入所させるしかない	48	40.3%
(3) 在宅でなく、施設への入所が望ましいと考えている	22	18.5%
(4) 本人が希望しているので入所させたいと思う	3	2.5%
(5) その他	2	1.7%
無回答	29	24.4%
計	119	100.0%

○ 「その他」の記述内容

- ・もっと体調が悪くなったら入所させたい（寝たきり等）
- ・介護者の体調により、入所を考えている
- ・バリアフリーではないので在宅が無理

問 23. 介護している中で、安心して在宅での介護生活をするには、どのようなサービスがあればよいと思いますか。 (1つに○)

1. 24時間対応可能な自宅への訪問介護や訪問看護
2. 医師の訪問診療（内科、歯科、神経科、精神科等）
3. 急な宿泊の希望に対応できるショートステイ
4. 通所の希望に柔軟に対応できるデイサービス
5. 障がいや医療への対応ができるデイサービス
6. 希望により宿泊もできるデイサービス
7. 配食や買い物支援、ゴミ出し、通院介助等の日常生活のお世話
8. 相談や話し相手などの訪問サービス
9. その他（)
10. 特にない

23 在宅介護生活に必要と思われるサービス

	回答数	構成比
(1) 24時間対応可能な自宅への訪問介護や訪問看護	20	16.8%
(2) 医師の訪問診療	9	7.6%
(3) 急な宿泊の希望に対応できるショートステイ	17	14.3%
(4) 通所の希望に柔軟に対応できるデイサービス	4	3.4%
(5) 障がいや医療への対応ができるデイサービス	5	4.2%
(6) 希望により宿泊もできるデイサービス	5	4.2%
(7) 配食や買い物支援、ゴミ出し、通院介助等の日常生活のお世話	5	4.2%
(8) 相談や話し相手などの訪問サービス	0	0.0%
(9) その他	4	3.4%
(10) 特にない	3	2.5%
無回答	47	39.5%
計	119	100.0%

○ 「その他」の記述内容

- ・24時間相談できるテレホンサービス

- ・介護者の負担を減らせるような家事手伝い
- ・介護士の安価な派遣
- ・在宅の生活は不可能なので選択できない

問 24. 介護者として充実を望むことは何ですか。

(主なもの3つまで○)

1. 介護者の会等の介護者同士の交流の場
2. 公的な機関等の個人的な相談機関
3. 介護者教室等の介護技術が学べる機会
4. 介護者がリフレッシュできるような機会
5. 地域の方が認知症について学び、理解を深めるための認知症サポーターの養成講座
6. 隣近所の助け合いやボランティア活動への支援
7. 高齢者福祉サービスの充実
8. 介護保険サービスの充実
9. 特別養護老人ホームや老人保健施設の整備
10. その他 ()

24 介護者として充実を望むこと【複数回答】

	回答数	構成比
(1) 介護者の会等の介護者同士の交流の場	12	10.1%
(2) 公的な機関等の個人的な相談機関	13	10.9%
(3) 介護者教室等の介護技術が学べる機会	6	5.0%
(4) 介護者がリフレッシュできるような機会	21	17.6%
(5) 地域の方が認知症について学び、理解を深めるための認知症サポーターの養成講座	3	2.5%
(6) 隣近所の助け合いやボランティア活動への支援	5	4.2%
(7) 高齢者福祉サービスの充実	45	37.8%
(8) 介護保険サービスの充実	41	34.5%
(9) 特別養護老人ホームや老人保健施設の整備	54	45.4%
(10) その他	5	4.2%
無回答	30	25.2%
計	235	197.5%

※構成比は回答者数119件を100%とする。

○ 「その他」の記述内容

- ・その家にあった柔軟な介護協力
- ・グループホームで十分に適切な介護を受けておりますが、通院が必要であり、少々困っています。訪問医療の充実を希望します。
- ・特養ホームの2人部屋～3人部屋の増設を希望
- ・ショートステイを気軽に利用できるように、週の半分を過ごせるような形を多くする。自宅と施設、半々の利用を広めていく。
- ・医療時、延命と治療に悩む。苦しい状態を長びかせたくない。枯死希望。

第7期佐倉市高齢者福祉・介護計画の骨子（一部修正版）

計画策定の趣旨

●計画策定の背景と趣旨

「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」が、平成30年4月から施行。

(1) 地域包括ケアシステムの深化・推進

自立支援・重度化防止に向けた取り組みの推進、地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進など。

(2) 介護保険制度の持続可能性の確保

利用者負担割合の見直し、介護納付金の総報酬割導入。

●計画の位置づけ

老人福祉法第20条の8に規定する「市町村老人福祉計画」と、介護保険法第117条に規定する「市町村介護保険事業計画」として位置づけ。

佐倉市総合計画や佐倉市地域福祉計画、その他各種計画とも整合を図る。

●計画期間

平成30年4月から平成33年3月まで

策定に向けた現状分析

●高齢者人口、世帯等の状況

●介護保険の状況

●実態調査（アンケート）集計

計画の基本的な考え方

●基本理念

「みんなで支え合い、よろこびが生まれる都市・佐倉」

●基本目標

（介護が必要な高齢者が急速に増加することが見込まれる2025年（平成37年）を見据え、）可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、（医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活支援が包括的に確保される）地域包括ケアシステムの構築、推進を図る。

●市が目指す方向

「生きがい」

…生きがいを持って、自立した暮らしを送ることができる。

「住環境」

…住み慣れた地域で安心・安全で快適な環境のもと、住み続けることができる。

「介護予防」

…健康づくりや介護予防に関心を持ち、健康寿命の延伸に取り組むことができる。

「生活支援」

…身近な地域で日常生活上の支援を受けながら、自立した生活を送ることができる。

「介護」

…本人が望む場所や環境で、最適な介護の提供を受けることができる。

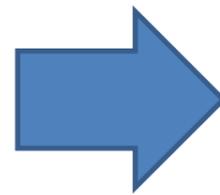
「医療」

…本人が望む場所や環境で、最適な医療の提供を受けることができる。

施策の体系のイメージ案

〔 第6期（H27～29年度） 〕

第1章 あたたかい心がふれあう地域づくり ～医療・介護・福祉・保健の連携～
1 医療・介護・福祉・保健のネットワークの構築
2 市民参加の推進
3 福祉意識の高揚
第2章 安全で快適なまちづくり ～高齢者が生活しやすい都市・交通基盤・住宅等の整備～
1 高齢者が行動しやすい都市基盤の整備
2 高齢者が生活しやすい住まいの整備
第3章 楽しく生きがいのある暮らしづくり ～高齢者が生きがいをもって自立した暮らしを営むために～
1 高齢者の就労機会の確保
2 高齢者の社会参加の促進
3 高齢者の学習活動の推進
4 高齢者を主体とした世代間交流の推進
第4章 元気いっぱいいきいき健康づくり ～高齢者の健康を維持・増進するための介護予防等の推進～
1 介護予防の推進〔新しい総合事業〕
2 いきいき健康づくり
第5章 安心な老後を支える仕組みづくり ～要支援・要介護高齢者等の生活を支える介護保険事業をはじめとする各種支援～
1 介護保険サービスの推進
2 介護サービスの質の向上
3 多様な生活支援サービスの充実〔新しい総合事業〕
4 認知症施策の推進

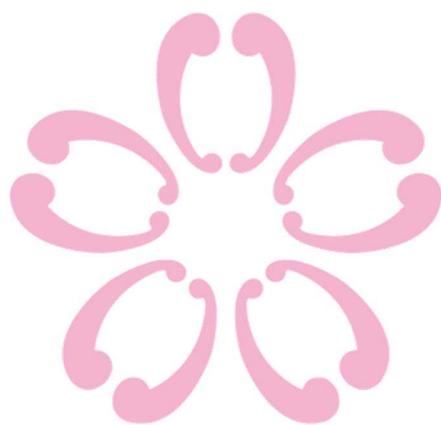


〔 第7期（H30～32年度） 〕

第1章 「生きがい・介護予防」 ～地域で支え合いながら活躍する高齢者へ～
1 社会参加の促進と福祉意識の高揚
2 生涯学習活動と就労支援
3 健康づくりの普及・促進
4 介護予防の総合的な推進
第2章 「生活支援・住環境整備」 ～住み慣れたまちで自分らしく暮らすために～
1 安心できる在宅福祉サービスの提供
2 認知症にやさしい佐倉の推進
3 権利擁護と地域での見守り
4 高齢者が行動しやすい都市基盤の整備
第3章 「医療・介護」 ～人生の最期まで自分らしく生きるために～
1 在宅医療・介護連携推進
2 介護保険サービスの充実

※施策体系の文言のほか、構成や並び順については、一部修正する場合がありますので、ご了承ください。

第7期佐倉市
高齢者福祉・介護計画
(素案)



平成30年3月

佐倉市

は じ め に

目次 (案)

第1部 総論

第1章 計画の概要	5
1 計画策定の趣旨	5
2 計画の位置づけ	7
3 計画の期間	8
4 計画の策定体制と進行管理	9
(1) 計画の策定体制	
(2) 計画の進行管理	
第2章 計画策定の基本条件	11
1 高齢者数などの状況	11
(1) 人口と高齢化率の推移	
(2) 高齢者世帯の推移	
2 介護保険サービスの状況	14
(1) 要支援・要介護認定者数の推移	
(2) 介護サービスの受給状況	
3 市民等への実態・意向調査	16
(1) 調査の実施概要	
(2) 調査結果・分析	
第3章 計画の基本理念や取り組み	
1 計画の基本的な考え方	
(1) 基本理念と基本目標	
(2) 施策の体系	
(3) 重点施策	
2 日常生活圏域	
(1) 日常生活圏域の設定	
(2) 日常生活圏域における高齢者人口等の推移	
3 地域包括支援センターなどの充実	
(1) 地域包括支援センター	
(2) 地域ケア会議	

第2部 施策

第1章 「生きがい・介護予防」

～地域で支え合いながら活躍する高齢者へ～

- 1 社会参加の促進と福祉意識の高揚
- (1) 地域活動の振興
- (2) 敬老事業の推進
- (3) 福祉に関する学習機会の確保
- 2 生涯学習活動と就労支援
- (1) 生涯学習活動の推進
- (2) 就労支援
- 3 健康づくりの普及・推進
- (1) 健康づくりの推進
- (2) スポーツ活動の推進
- 4 介護予防の総合的な推進
- (1) 介護予防・生活支援サービス事業
- (2) 一般介護予防事業
- (3) 介護予防・生活支援サービスの体制整備

第2章 「生活支援・住環境整備」

～住み慣れたまちで自分らしく暮らすために～

- 1 安心できる在宅福祉サービスの提供
- (1) ひとり暮らし・高齢者世帯を支える在宅福祉サービス
- (2) 在宅生活における介護者等への負担軽減
- (3) 見守り支援・もしもの時の支援
- 2 認知症にやさしい佐倉の推進
- (1) 認知症の理解を深めるための普及・啓発
- (2) 認知症の人と介護者を支えるネットワーク強化
- (3) 認知症の人とその家族の視点を重視したやさしい地域づくり
- 3 権利擁護と地域での見守り
- (1) 成年後見制度
- (2) 地域福祉権利擁護事業
- (3) 高齢者の虐待防止
- (4) 養護老人ホームへの適切な入所措置
- 4 高齢者が行動しやすい都市基盤の整備
- (1) 福祉のまちづくり推進
- (2) 安心して利用できる交通基盤の整備
- (3) 高齢者の住まいに関する整備

第3章 「医療・介護」

～人生の最期まで自分らしく生きるために～

- 1 在宅医療・介護の連携推進.....
 - (1) 医療・介護連携における課題把握と対応策の検討
 - (2) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築・推進
 - (3) 地域住民への普及啓発
- 2 介護保険サービスの充実

第3部 介護保険サービス

第1章 介護保険制度の費用負担

- 1 費用負担
- 2 財源の構成

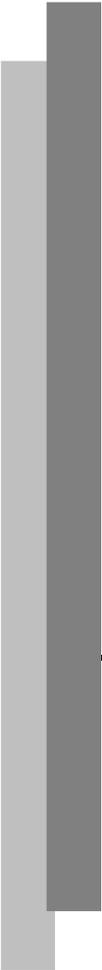
第2章 介護保険サービス見込み量

- 1 居宅サービス
- 2 地域密着型サービス
- 3 施設サービス
- 4 施設整備計画

第3章 事業費見込みと介護保険料

- 1 保険給付費
- 2 地域支援事業費.....
- 3 介護保険料設定の考え方

資料編



第1部 総論

第1章 計画の概要

1 計画策定の趣旨

日本の総人口は、平成20年（2008年）をピークに、平成23年（2011年）以降は継続して減少し、平成29年（2017年）9月現在で約1億2,672万人と、本格的な人口減少社会が到来しています。

一方、65歳以上の高齢者人口は、一貫して増加しており、総人口に占める高齢者人口の割合（高齢化率）は平成29年9月現在27.7%、国立社会保障・人口問題研究所の推計による平成37年（2025年）の高齢化率は30.0%に達すると見込まれています。

本市においても、総人口は、平成16年（2004年）以降概ね横ばい、平成23年（2011年）以降はわずかに減少傾向に転じているなか、高齢者人口は継続して増え、平成29年9月末現在の高齢化率は29.9%と全国平均を上回っており、今後もさらに上昇することが見込まれていることから、ますます少子高齢化が進展するものと予想されます。

高齢化の急速な進展により、地域社会においては、高齢者のひとり暮らしや高齢者のみの世帯の増加とそれに伴う孤立、認知症高齢者の増加、介護する家族の負担の増加、高齢者に対する虐待、介護職員の人材不足など、高齢者を取り巻くさまざまな課題が表面化しています。

このような状況から、人口減少や少子高齢化に対応した社会の仕組みが求められ、特に、高齢者の尊厳の保持や自立生活の支援のために、地域の実情に応じて、可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が適切に組み合わせられて提供される「地域包括ケアシステム」を構築、推進することが極めて重要となります。

また、高齢者が健康で生きがいをもって生活を送ることができるよう、市民と行政がともに手を携え、いきいきとした人生を支援していく体制づくりに向け、自助、互助、共助、公助の適切な組み合わせに基づいた地域づくり、福祉及び介護施策の充実と社会参加の機会の拡充、バリアフリーのまちづくりを進めていく必要があります。

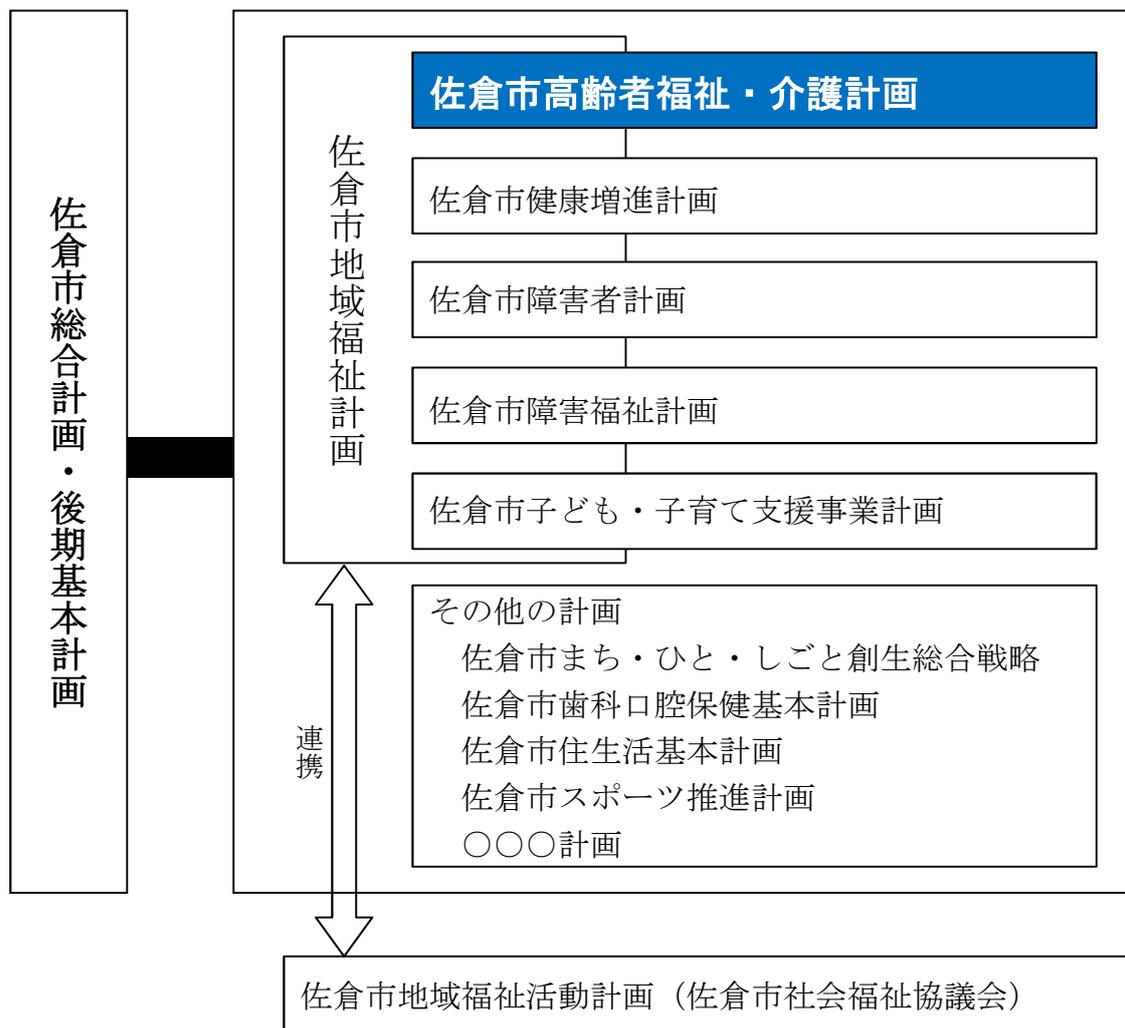
国においては、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現を図るとともに、制度の持続可能性を確保することに配慮し、サービスを必要とする方に適切なサービスが提供されるようにすることなどを目的として、「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」が施行され、これにより、地域包括ケアシステムの深化・推進、介護保険制度の持続可能性の確保などの実現に向けた取り組みが進められています。

本計画は、これら的高齢者福祉や介護に関する諸課題を、市民とともに解決し、より多くの方が暮らしやすいまちを目指す、高齢者のための総合的な計画として、3年を1期として策定するもので、団塊の世代が75歳以上となり、介護を必要とする高齢者がピークを迎えるものと見込まれている平成37年（2025年）をも見据える中で、今後3年間の高齢者福祉、介護施策を取りまとめて策定しています。

2 計画の位置づけ

「佐倉市高齢者福祉・介護計画」は、老人福祉法第20条の8の規定に基づく「市町村老人福祉計画」及び介護保険法第117条の規定に基づく「市町村介護保険事業計画」として位置づけられています。

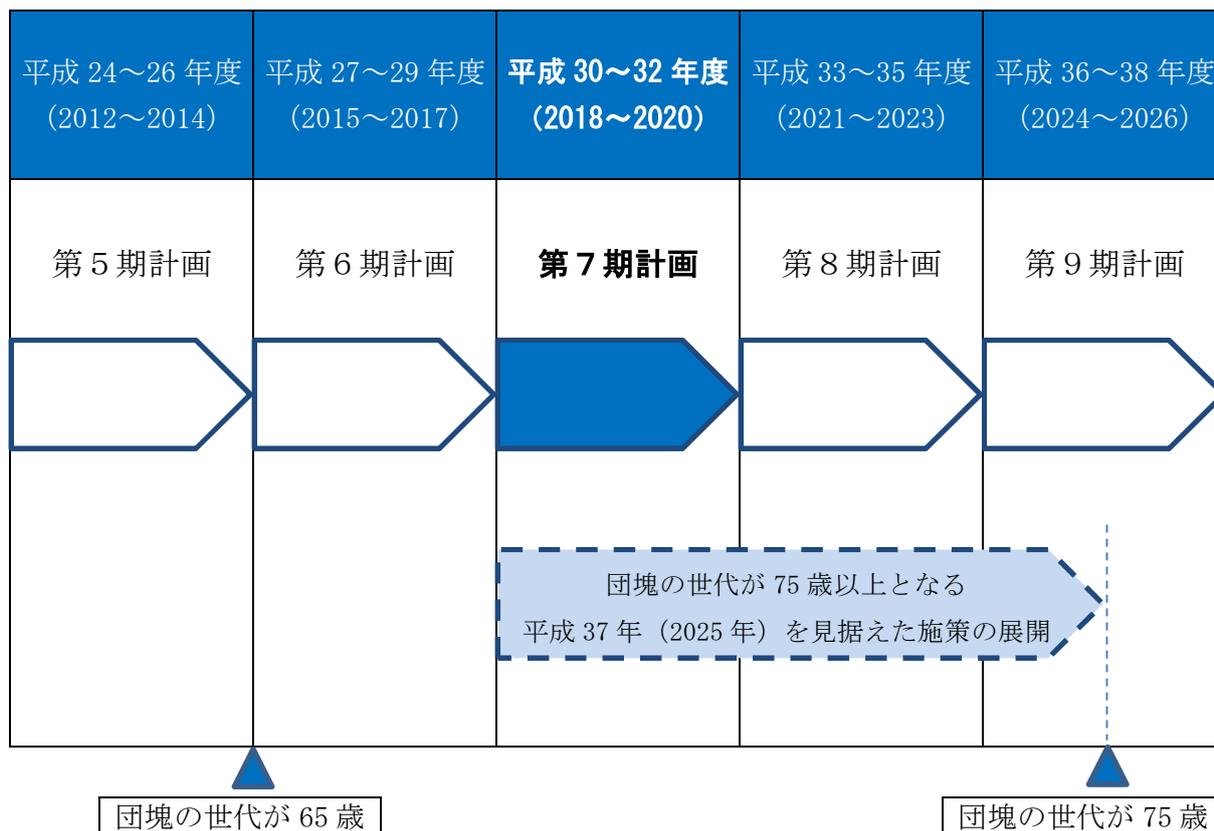
また、高齢者に関する施策全般を総合的かつ計画的に推進するとともに、介護保険事業の円滑な実施を図ることを目的として、「佐倉市総合計画・後期基本計画（平成28～31年度）」を基本に、「佐倉市地域福祉計画」や関連する個別計画とも整合を図りながら策定するものです。



3 計画の期間

第7期計画は、平成30年度から平成32年度までの3年間を計画の対象期間としています。

さらに、団塊の世代が75歳以上となる平成37年（2025年）をも見据えたうえで、各種施策の展開を図っていくことも求められています。



4 計画の策定体制と進行管理

(1) 計画の策定体制

○ 高齢者福祉・介護計画推進懇話会

この懇話会は、佐倉市高齢者福祉・介護計画に基づく施策や事業の推進に当たり、効果的な運用を期することを目的に設置されており、医療、福祉、介護の各分野の代表と、学識経験者及び公募市民による委員で構成され、計画策定に向けたそれぞれの段階において、提案された内容について審議し、各々の立場から意見を述べ合いました。

○ 市民等への実態・意向調査の実施

現在の状況や求めているニーズ、今後の課題などについて把握するため、市民や介護保険サービス事業所などに対して、各種の実態や意向調査を実施し、それらの結果を分析、整理したうえで、今後の施策に反映すべく、計画の内容について検討しました。

○ 庁内による協議検討

高齢者福祉課内の各担当から職員を選出し、計画の内容や施策を検討するとともに、関係各課とも調整を図り、内容の協議、検討を進めました。

○ パブリックコメント

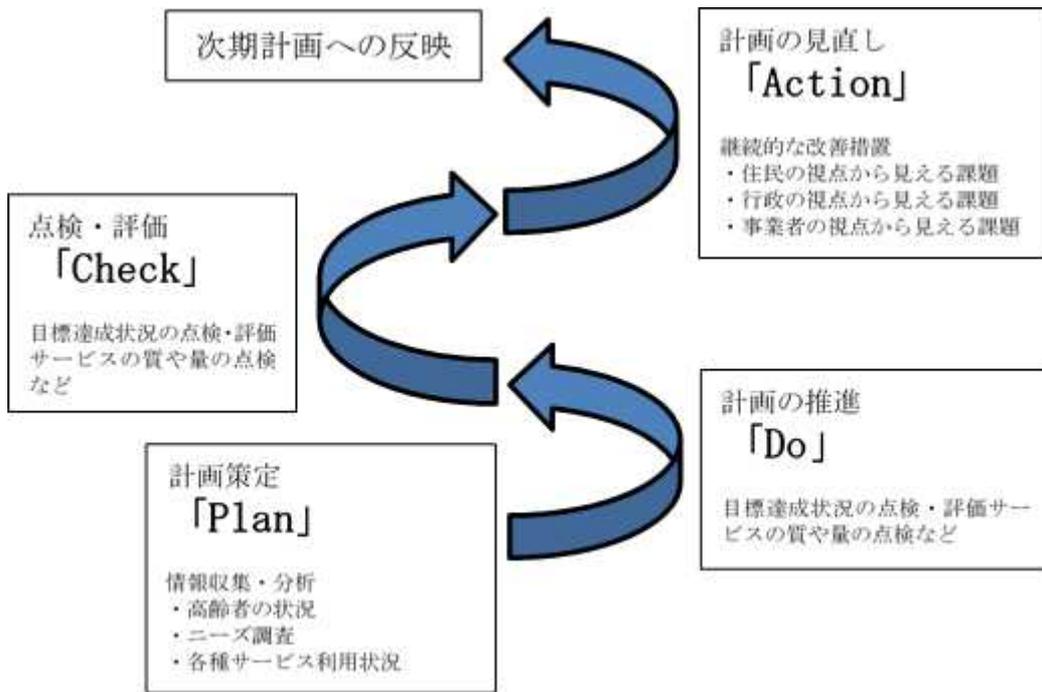
計画の案について、ホームページ等で公表し、市民からの意見を募り、提出された意見に対する市の考え方を公表しました。

(2) 計画の進行管理

この計画の円滑で確実な実施を図るとともに、高齢者福祉・介護保険サービスの質と量を維持し、高齢者がより使いやすいサービスをめざしていくため、計画の進行状況を把握、点検します。

また、施策の進捗状況の点検結果等の評価を行うとともに、サービスの必要量や供給量、質などの動向について、現状把握に努めます。

なお、第7期計画の進行管理、点検、評価については、佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会が主体となって実施します。



「住民からの視点」

項目：計画全般や各種サービスの周知度、サービス利用の感想、行政・事業者等に対する要望・苦情など

手段：アンケート調査、各種相談事業など

「行政からの視点」

項目：計画全般の達成度、介護保険サービスの利用状況、介護保険会計の動向など

手段：月次統計など

「事業者からの視点」

項目：サービスの利用動向、地域との連携状況など

手段：アンケート調査など

第2章 計画策定の基本条件

1 高齢者数などの状況

(1) 人口と高齢化率の推移

本市の人口は、平成29年9月末現在 176,300 人であり、今後は若干の減少傾向が続いていくものと推計されています。これに対して、65歳以上の高齢者人口は、引き続き増加が続き、平成37年には全人口の3人に1人が65歳以上の高齢者となる見込みです。

高齢者のうち、65歳～74歳の前期高齢者人口は、ここ数年をピークに今後は減少する一方、75歳以上の後期高齢者人口は、今後さらに増え続け、平成37年には全人口の5人に1人の割合となることが見込まれています。

全人口に占める65歳以上の割合を示す高齢化率は、平成29年9月末現在の29.9%から、3年後の平成32年には31.9%に上昇し、全人口に占める75歳以上の後期高齢者の割合も、平成29年の13.0%から、平成32年には15.4%となること推計されています。

「人口と高齢化率の推移」

(単位：人)

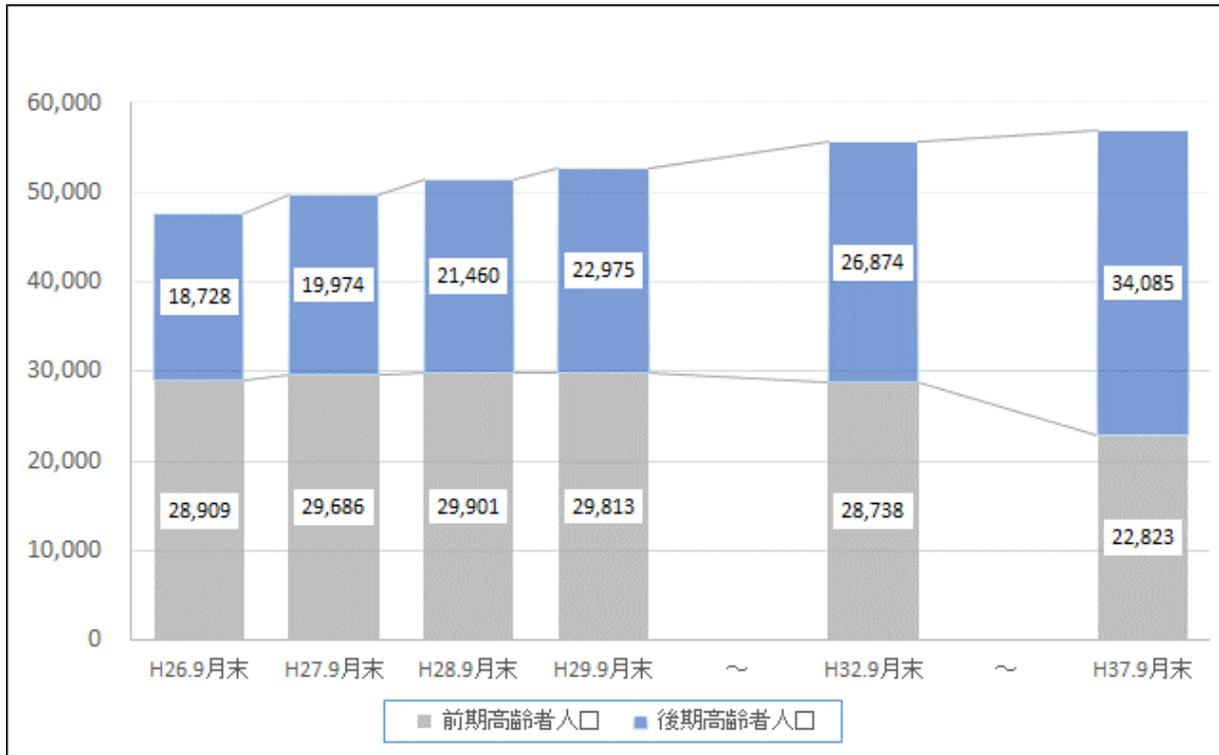
区分	実績				推計	
	H26.9月末	H27.9月末	H28.9月末	H29.9月末	H32.9月末	H37.9月末
	(第5期)	(第6期)			(第7期)	(第9期)
市内全人口	177,618	177,112	176,836	176,300	174,492	168,933
40歳未満	68,175	66,379	65,139	63,778	60,007	54,023
40～64歳	61,806	61,073	60,336	59,734	58,873	58,002
65歳以上 (高齢化率)	47,637 (26.8%)	49,660 (28.0%)	51,361 (29.0%)	52,788 (29.9%)	55,612 (31.9%)	56,908 (33.7%)
65～74歳 (全人口に占める割合)	28,909 (16.3%)	29,686 (16.8%)	29,901 (16.9%)	29,813 (16.9%)	28,738 (16.5%)	22,823 (13.5%)
75歳以上 (全人口に占める割合)	18,728 (10.5%)	19,974 (11.3%)	21,460 (12.1%)	22,975 (13.0%)	26,874 (15.4%)	34,085 (20.2%)

※ 平成26～29年は、住民基本台帳人口（外国人含む）の各年9月末日現在の数値。

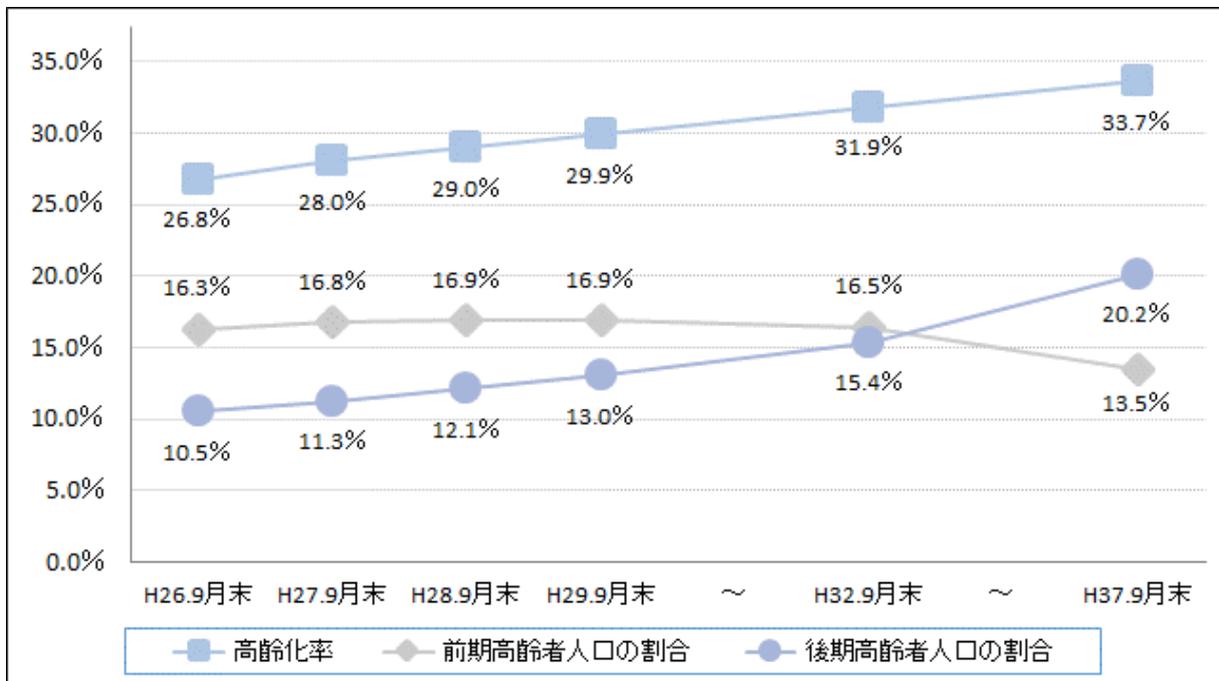
平成32年と37年は、「佐倉市人口推計（平成26年11月）」の将来人口推計を参考に、各年9月末日現在の数値を独自推計。

「前期高齢者人口と後期高齢者人口の推移」

(単位：人)



「高齢化率の推移」

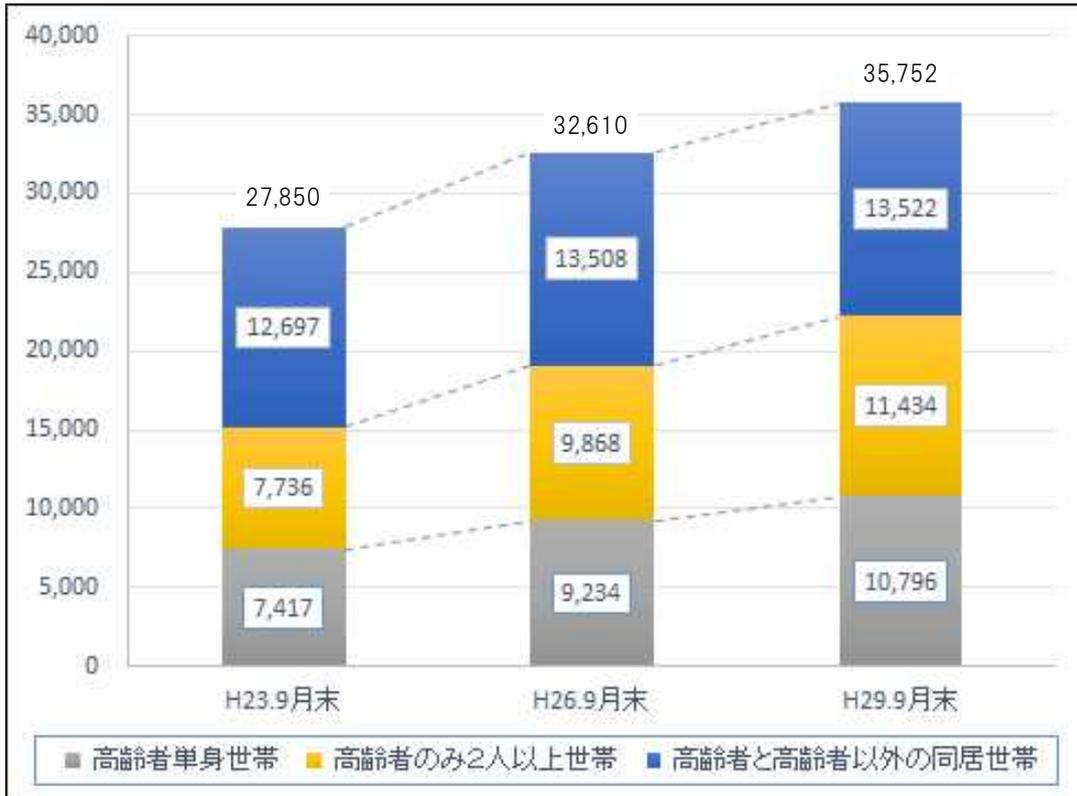


(2) 高齢者世帯の推移

佐倉市の住民基本台帳に基づく高齢者世帯の状況については、平成29年9月末現在で、高齢者単身世帯が10,796世帯、高齢者のみ2人以上世帯が11,434世帯となっており、どちらの世帯も平成23年あるいは平成26年と比較して増加しています。

「高齢者世帯の推移（住民基本台帳）」

(単位：世帯)



2 介護保険サービスの状況

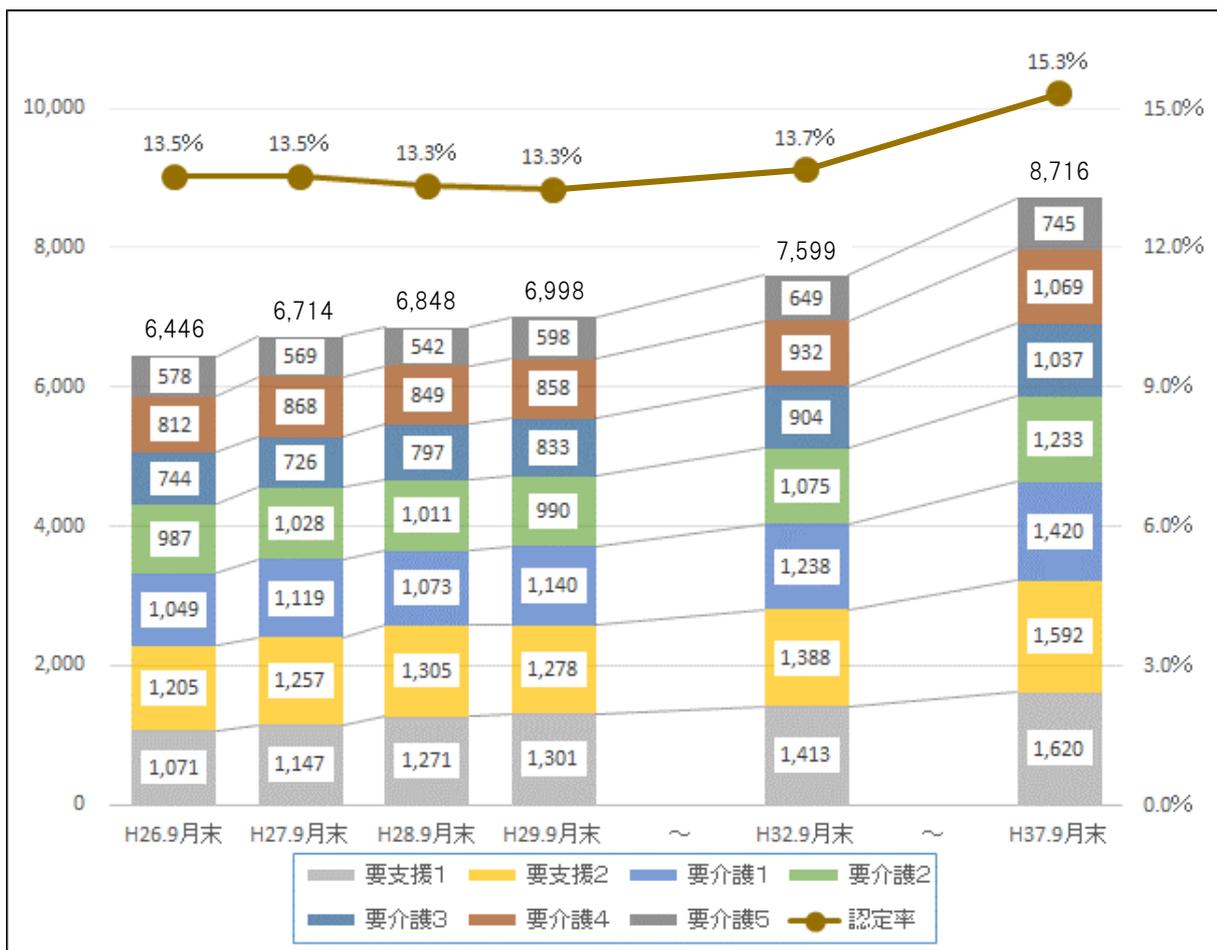
(1) 要支援・要介護認定者数の推移

平成29年9月末現在、要支援・要介護認定を受けている方は6,998人で、このうち65歳以上の第1号被保険者は6,810人です。同月末現在の65歳以上人口が52,788人であるため、65歳以上の高齢者のうち約13%の方が、要支援・要介護認定を受けていることになります。現在の状況から推計すると、3年後の平成32年(2020年)には、認定者数が7,500人を超えるものと見込まれています。

なお、平成29年9月末時点の要支援・要介護認定者の介護度別の内訳は、要支援1と要支援2の方が全体の約37%、要支援に要介護1の方を含めると全体の約53%と半数以上となります。一方、特別養護老人ホームへの入所申し込みが原則可能となる要介護3以上の方は、2,289人と全体のおよそ3分の1を占めています。

「要支援・要介護認定者数等の推移」

(単位：人)



(2) 介護サービスの受給状況

平成29年9月末現在、居宅介護（介護予防）サービスを受けている方は4,347人で、要支援・要介護認定者全体の62.1%に達しており、特に、要介護1と要介護2の方は4分の3以上の方が受給されています。また、地域密着型（介護予防）サービスを受けている方は746人で、認定者全体の10.7%が受給されています。

施設介護サービスを受けている方は1,055人で、認定者全体の15.1%ですが、要介護3以上の方はいずれも全体の3割を超える方が受給されており、要介護5の方は42.6%と、介護度が重くなるほど受給する割合が高くなっています。

「介護（予防）サービス受給状況・平成29年9月末現在」

（単位：人）

区分		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
居宅介護 （介護予防）サービス	受給者① (A/G)	673 (51.7%)	870 (68.1%)	878 (77.0%)	774 (78.2%)	505 (60.6%)	424 (49.4%)	223 (37.3%)	4,347 (62.1%)
地域密着型 （介護予防）サービス	受給者② (B/G)	0 (0.0%)	2 (0.2%)	271 (23.8%)	169 (17.1%)	135 (16.2%)	107 (12.5%)	62 (10.4%)	746 (10.7%)
施設介護 サービス	介護老人 福祉施設 受給者③ (C/G)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	19 (1.7%)	62 (6.3%)	172 (20.6%)	224 (26.1%)	188 (31.4%)	665 (9.5%)
	介護老人 保健施設 受給者④ (D/G)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	50 (4.4%)	74 (7.5%)	88 (10.6%)	109 (12.7%)	64 (10.7%)	385 (5.5%)
	介護療養型 医療施設 受給者⑤ (E/G)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.2%)	3 (0.5%)	5 (0.1%)
	小計 受給者⑥ (F/G)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	69 (6.1%)	136 (13.7%)	260 (31.2%)	335 (39.0%)	255 (42.6%)	1,055 (15.1%)
要支援・要介護認定者⑦		1,301	1,278	1,140	990	833	858	598	6,998

3 市民等への実態・意向調査

(1) 調査の実施概要

市では、第7期計画策定（第6期計画の見直し）のための基礎資料とすることを目的として、市民や介護保険サービス事業所などを対象に、現在の状況や制度に対するご意見などを伺う調査を実施しました。

「調査名、対象、対象期間、配布及び回収状況等一覧」

①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

対象：要介護1から5までの要介護認定を受けていない65歳以上の市民
調査期間：平成29年7月11日～7月31日
配布数：3,500、有効回収数：2,311（回収率：66.0%）

②在宅介護実態調査

対象：在宅生活の要支援・要介護者で、期間中に更新や区分変更で認定調査を受けた市民
（認定調査員による聞き取り調査と郵送による調査の2つの手法により）
調査期間：平成29年1月4日～7月31日
配布数：1,083、有効回収数：687（回収率：63.4%）

③第7期佐倉市高齢者福祉・介護計画に係る事業参入意向調査

対象：市内の介護保険サービス事業所
調査期間：平成29年9月19日～10月18日（※以下の④～⑦も同期間）
配布数：164、有効回収数：11（参入意向がある事業所のみ回答）

④佐倉市介護人材の確保・定着に関する実態調査

対象：市内の介護保険サービス事業所
配布数：164、有効回収数：82（回収率：50.0%）

⑤佐倉市介護労働者の実態及び意識調査

対象：市内の介護保険サービス事業所に就労している、主任又はリーダー職以上の職員
（実務経験5年程度以上、164人）、一般職員（実務経験5年程度未満、164人）
配布数：328、有効回収数：162（回収率：49.4%）

⑥介護サービス利用意向調査（介護サービス未利用者）

対象：市内に在住し、介護認定を受けているサービス未利用者
配布数：719、有効回収数：441（回収率：61.3%）

⑦介護サービス利用意向調査（特別養護老人ホーム入所希望者）

対象：市内に在住し、特別養護老人ホームに入所希望している者
配布数：290、有効回収数：118（回収率：40.7%）

⑧特別養護老人ホーム転床希望調査

対象：併設型の短期入所生活介護を運営している市内の特別養護老人ホーム
調査期間：平成29年9月11日～10月10日
配布数：6、有効回収数：6（回収率：100.0%）

(2) 調査結果・分析

各種の調査結果から、以下の点が明らかになりました。

※ 「調査結果・分析」については、本日の会議での調査結果報告を踏まえ、今後掲載していきます。

第3章 計画の基本理念や取り組み

1. 計画の基本的な考え方

(1) 基本理念と基本方針

本計画の基本理念は、第1期から第6期までの基本理念を継承し、第7期においても、次のとおりとします。

基本理念

**みんなで支え合い、よろこびが
生まれる都市・佐倉**

この基本理念は、市民と市民、市民と行政が支え合うことを基本に、市民一人ひとりの生活からまちづくりに至るまでの、佐倉市の総合的な高齢者福祉・介護保険施策を推進する姿勢をあらわすものです。

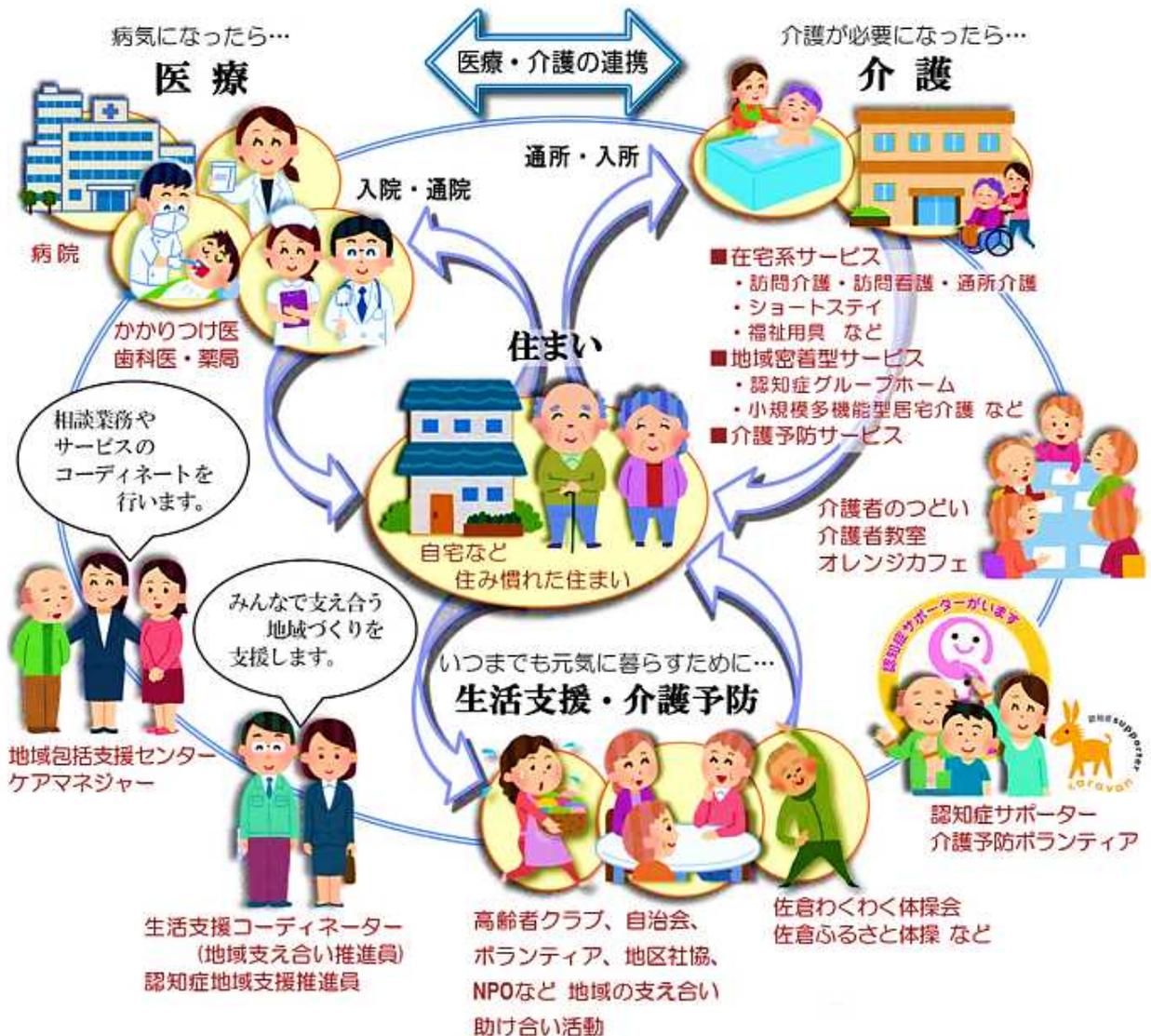
また、基本理念を踏まえ、みんなで支え合う都市実現のため、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもと、団塊の世代が75歳以上となり、介護を必要とする高齢者がピークを迎えるものと見込まれている平成37年（2025年）をも見据える中で、次のとおり基本目標を掲げるとともに、施策を推進します。

基本目標

可能な限り住み慣れた地域で日常生活を営むことができるよう、地域包括ケアシステムの構築、推進を図る。

「佐倉市版地域包括ケアシステム・イメージ図」

みんなで支え合い、よろこびが生まれる都市・佐倉



(2) 施策の体系

基本理念や基本目標のもと、高齢者が、住み慣れた地域でいきいきと暮らしていただけるように、市では高齢者施策を以下の図のような体系で進めていきます。

基本理念	基本目標	施策
<p>みんなで支え合い、よろこびが生まれる都市・佐倉</p>	<p>可能な限り住み慣れた地域で日常生活を営むことができるよう、地域包括ケアシステムの構築、推進を図る。</p>	<p>第1章「生きがい・介護予防」 ～地域で支え合いながら活躍する高齢者へ～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域活動の振興と福祉意識の高揚 2 生涯学習活動と就労支援 3 健康づくりの普及・推進 4 介護予防の総合的な推進 <p>第2章「生活支援・住環境整備」 ～住み慣れたまちで自分らしく暮らすために～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 安心できる在宅福祉サービスの提供 2 認知症にやさしい佐倉の推進 3 高齢者の権利擁護と地域での見守り 4 高齢者が行動しやすい都市基盤の整備 <p>第3章「医療・介護」 ～人生の最期まで自分らしく生きるために～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 在宅医療・介護の連携推進 2 介護保険サービスの充実

(3) 重点施策

市では、各種の高齢者施策のうち、今後の佐倉市を見据えるうえで、取り組んでいかなければならないもの、課題の解決が望まれるものについて、また、市民等への実態調査から明らかになった意見等を踏まえ、重点的に取り組む施策として、以下の3項目を掲げます。

「介護予防の総合的な推進」（第1章の4）

高齢者が要介護状態になることを防ぎ、住み慣れた地域での自立した生活を維持するため、介護予防に関する知識の普及と地域における自主的な取り組みを促進します。

「認知症にやさしい佐倉の推進」（第2章の2）

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、市民一人ひとりが認知症に関する正しい知識を持つとともに、地域全体で支えるための体制の整備を推進します。

「介護保険サービスの充実」（第3章の2）

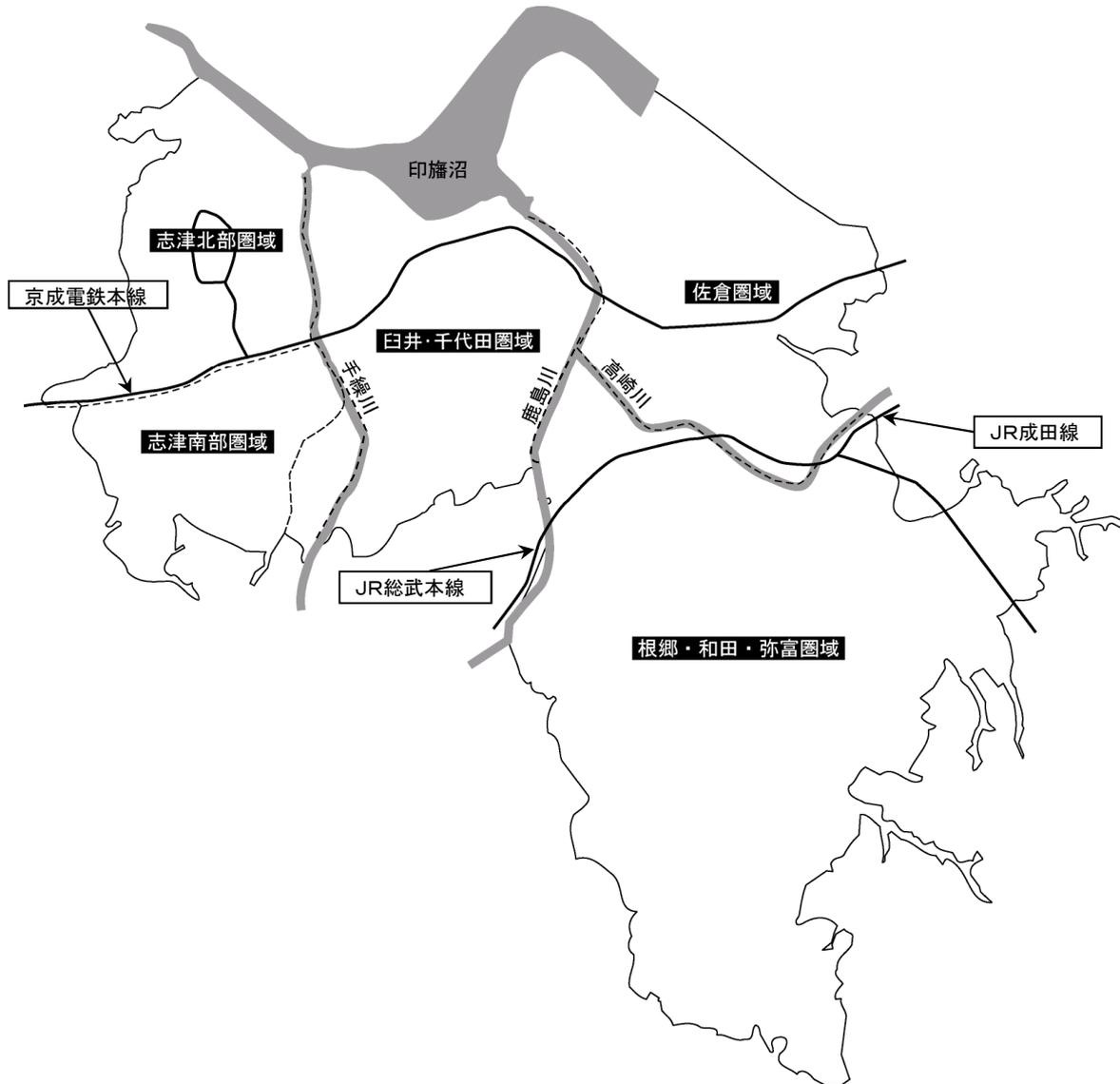
要支援・要介護認定申請者数、介護サービス利用者数が年々増加の一途をたどっている現状を踏まえ、適正に介護保険サービスの提供が行えるよう介護保険料の確保、認定事務の体制整備、適正なサービス費の給付を図ります。

2 日常生活圏域

(1) 日常生活圏域の設定

第6期計画に引き続き、第7期計画でも佐倉市を5つの日常生活圏域に分け、介護施設等の配置や整備を行い、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らしていけるよう、ネットワークの形成を行います。

「日常生活圏域・図」



「日常生活圏域設定のポイント」

- ・旧町村をベースにした既存コミュニティの形成
- ・既存の介護施設等の整備状況と新規の介護施設等の配置・整備
- ・各圏域の高齢者人口のバランス
- ・身近な地域で福祉サービスを楽しむ範囲

(2) 日常生活圏域における高齢者人口等の推移

平成29年9月末現在の住民基本台帳に基づく高齢者人口などの状況を日常生活圏域別にみると、高齢化率が高いのは、佐倉圏域の33.9%、次いで臼井・千代田圏域の31.1%、一方、高齢化率が低いのは、根郷・和田・弥富圏域の27.6%、志津北部圏域の28.0%となっています。

また、下記の表のとおり、各圏域とも年々高齢化率は上昇しており、平成32年9月末時点の推計では、5圏域中4圏域で高齢化率が30%を超えることが見込まれています。

日常生活圏域	区分	実績		推計
		H26.9月末	H29.9月末	H32.9月末
志津北部圏域	人口	40,221	40,729	42,573
	高齢者人口 (高齢化率)	10,094 (25.1%)	11,401 (28.0%)	12,297 (28.9%)
志津南部圏域	人口	36,770	36,218	35,979
	高齢者人口 (高齢化率)	9,882 (26.9%)	10,686 (29.5%)	10,906 (30.3%)
臼井・千代田圏域	人口	42,178	41,607	40,651
	高齢者人口 (高齢化率)	11,581 (27.5%)	12,935 (31.1%)	13,601 (33.5%)
佐倉圏域	人口	29,508	28,853	27,414
	高齢者人口 (高齢化率)	9,041 (30.6%)	9,789 (33.9%)	10,161 (37.1%)
根郷・和田・弥富圏域	人口	28,941	28,893	27,877
	高齢者人口 (高齢化率)	7,039 (24.3%)	7,977 (27.6%)	8,647 (31.0%)
市全体	人口	177,618	176,300	174,492
	高齢者人口 (高齢化率)	47,637 (26.8%)	52,788 (29.9%)	55,612 (31.9%)

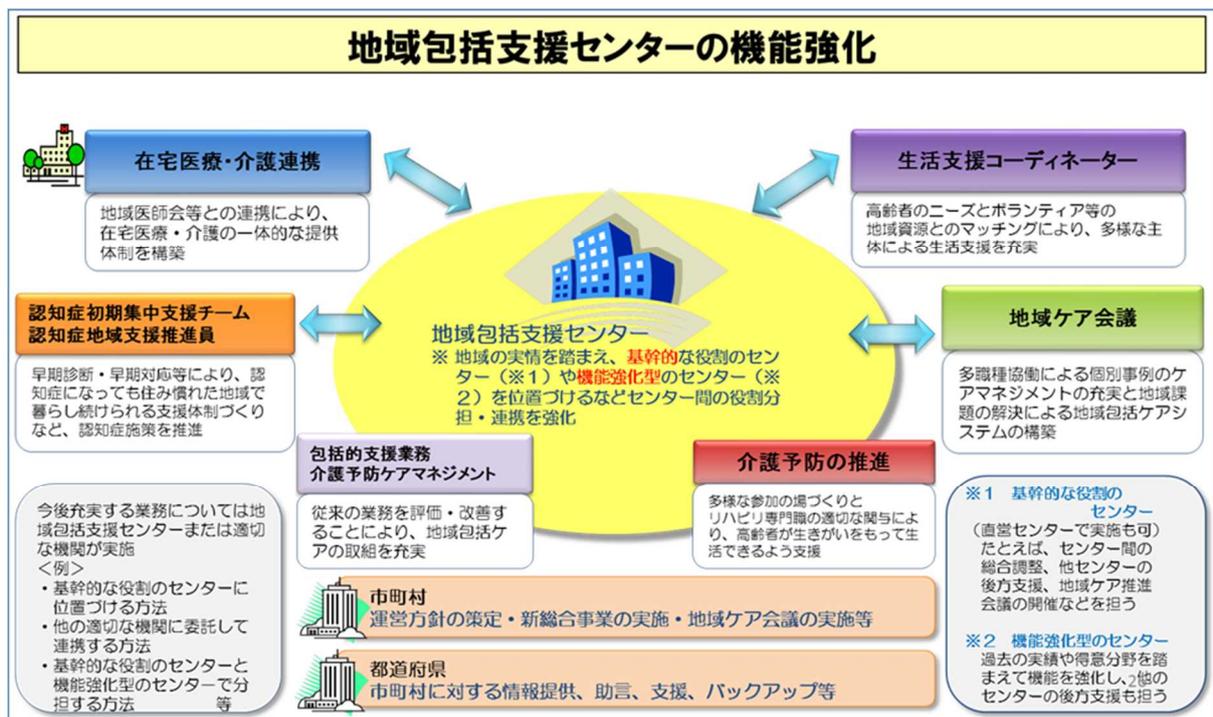
3 地域包括支援センターなどの充実

(1) 地域包括支援センター

地域包括支援センターは、平成18年4月の介護保険法改正により、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、地域において一体的に実施する役割を担う中核拠点として創設されました。

平成18年4月から市直営で運営し、平成21年4月からは、社会福祉法人への委託により、日常生活圏域ごとに地域包括支援センターを各1カ所（計5カ所）設置して、高齢者やその家族などをより身近な地域でサポートし、安心して暮らすことのできる体制を整備しており、総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援、生活支援体制整備、多職種協働による地域包括支援ネットワーク構築、認知症総合支援、地域ケア会議推進、介護予防の把握・普及啓発・地域活動支援など、さまざまな業務に取り組んでいます。

今後は、高齢化の進展、要支援・要介護者の増加に伴い、相談件数の増加や困難事例への対応など、さらなる業務量の増加が予想されます。このことから、地域包括支援センターには、業務量に応じた適切な人員配置を行うとともに、地域包括支援センターの運営や活動に対する点検や評価を適切に行い、安定的・継続的な運営が行われるよう、市は、運営方針を定め、引き続き、体制強化及び機能強化に向けて施策を推進します。また、高齢者人口等の増加を考慮し、地域包括支援センターのあり方なども検討します。



「市内各地域包括支援センターの一覧」

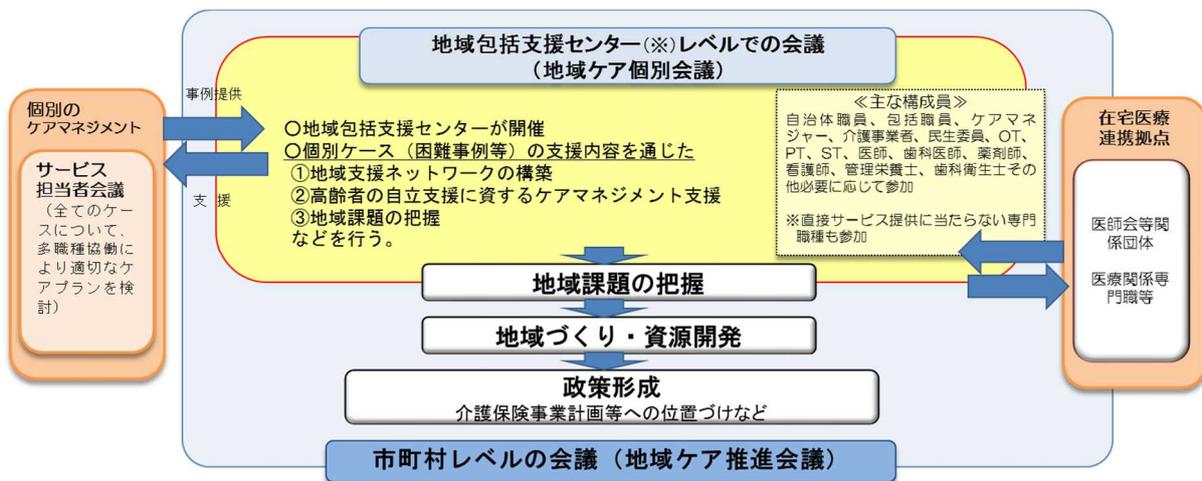
日常生活圏域	地域包括支援センター名称	担当地域
志津北部圏域	志津北部地域包括支援センター	上座、小竹、青菅、先崎、井野、井野町、宮ノ台、ユーカリが丘、南ユーカリが丘、西ユーカリが丘
志津南部圏域	志津南部地域包括支援センター	上志津、上志津原、下志津、下志津原、中志津、西志津
臼井・千代田圏域	臼井・千代田地域包括支援センター	臼井、臼井田、臼井台、江原、江原新田、角来、印南、八幡台、新臼井田、江原台、王子台、南臼井台、稲荷台、生谷、畔田、吉見、飯重、羽鳥、染井野
佐倉圏域	佐倉地域包括支援センター	田町、海隣寺町、並木町、宮小路町、鎗木町、新町、裏新町、中尾余町、最上町、弥勒町、野狐台町、鍋山町、本町、樹木町、将門町、大蛇町、藤沢町、栄町、城内町、千成、大佐倉、飯田、岩名、菘山新田、土浮、飯野、飯野町、下根、山崎、上代、高岡、宮前、白銀、鎗木仲田町
根郷・和田・弥富圏域	南部地域包括支援センター	六崎、寺崎、寺崎北、太田、大篠塚、小篠塚、神門、木野子、城、石川、表町、大作、大崎台、山王、春路、馬渡、藤治台、寒風、直弥、上別所、米戸、瓜坪新田、上勝田、下勝田、八木、長熊、天辺、宮本、高崎、坪山新田、岩富町、岩富、坂戸、飯塚、内田、宮内、西御門、七曲

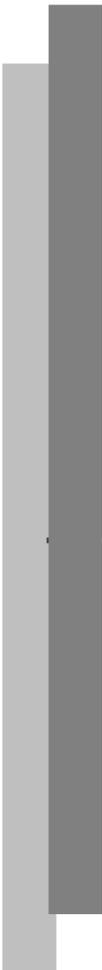
(2) 地域ケア会議

地域ケア会議は、地域の支援者を含めた多職種による専門的視点を交え、ケアマネジャーのケアマネジメント支援を通じて、適切な支援につながない高齢者の支援を行うとともに、個別ケースの課題分析等を通じて地域課題を発見し、地域に必要な資源開発や地域づくりを行うものです。

今後とも、すでに各地域包括支援センターなどで実施されている会議をベースとして、地域ケア会議のあり方や体系を整理、検討し、市全体の地域課題の解決や社会基盤の整備に向け、さらなる充実を図れるよう推進します。

- 個別のケア会議（各種ケース会議等）の活用など
- 各地域包括支援センターの連携
- 市及び各地域包括支援センターによる協議体の設置
- 地域包括支援センター運営協議会（佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会）の協力





第2部 施策

※ 第2部「施策」、第3部「介護保険サービス」、資料編については、
現在作成中のため、今後掲載していきます。